組立説明書

Dea's Garden ディーズガーデン

Dea's Shed Canna D70 / Canna𝑓 D70

～ディーズシェッド カンナ D70 / カンナ フォルテ D70～

このたびはDea's Garden製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく組立てをして頂くために、組立説明書をよくお読みください。

〈組立ての前に〉

◆施工の際には手袋を着用してください。怪我をする恐れがあります。
◆組立てには脚立が必要です。
◆下記の工具が必要です。
　○プラスドライバー ○水準器 ○モンキーレンチ ○電動ドリル十φ5ドリル（オプション「棟」の取付けの場合に必要）
◆組立てが不十分だと、強風などで外れる恐れがあります。この組立説明書に従い確実に固定してください。
◆強風時は、危険ですので施工しないでください。
◆トラスタッピングねじ以外は電動ドライバーの使用を避けてください。斜め挿入やねじ切りの恐れがあります。

梱包明細表

鋼板部

梱包名称		部品名称	数量
DSCH081/ DSCJ081	①	床枠(前)	1
	②	床枠(後)	1
DSCH181/ DSCJ181	③	D70床枠(右)	1
	④	D70床枠(左)	1
	⑦	D70床梁	1
DSCH182/ DSCJ182	⑨	床板A	1
DSCH082/ DSCJ082	⑪	前柱(右)	1
	⑫	前柱(左)	1
	⑬	扉枠(右)	1
	⑭	扉枠(左)	1
DSCH086/ DSCJ086	⑮	側壁A(右)	1
	⑯	側壁A(左)	1
DSCH087/ DSCJ087	⑲	奥壁(右)	1
	⑳	奥壁(左)	1
	㊱	奥壁ジョイント	1
	㊲	棚支柱(前)	1
	㊳	棚支柱(上)	1
DSCH183/ DSCJ183	㉓	D70後枠	1
	㉕	D70前枠	1
DSCH184/ DSCJ184	㉗	D70妻壁(右)	1
	㉘	D70妻壁(左)	1
	㉛	D70屋根(右)	1
	㉜	D70屋根(左)	1
DSCH085/ DSCJ085	㊴	棚板	4

部品セットB [DSCTH01/DSCTH02/DSCTH03/DSCTH04]

梱包名称	部品名称	数量
把手	把手	2
把手座	把手座	2
アクセサリー錠	アクセサリー錠	1
把手用ねじセット	トラス小ねじ M6×50	4
	平ワッシャー 外径Φ18	4
5連フックセット	5連フック	2
アンカーセット	アンカープレート	4
キャッチセット	プレート付マグネットキャッチ	2
	キャッチ受け金具	2
	皿小ねじ M3×10	4
	十字穴付六角ボルト M5×15	4
ヒンジセット	ヒンジ座	4
	ヒンジ	4
	皿小ねじ M4×10	24
	十字穴付超低頭ねじ M5×12	8
	平ワッシャー 外径Φ15	8
	ヒンジスペーサー	6

部品セットA [DSCH187]

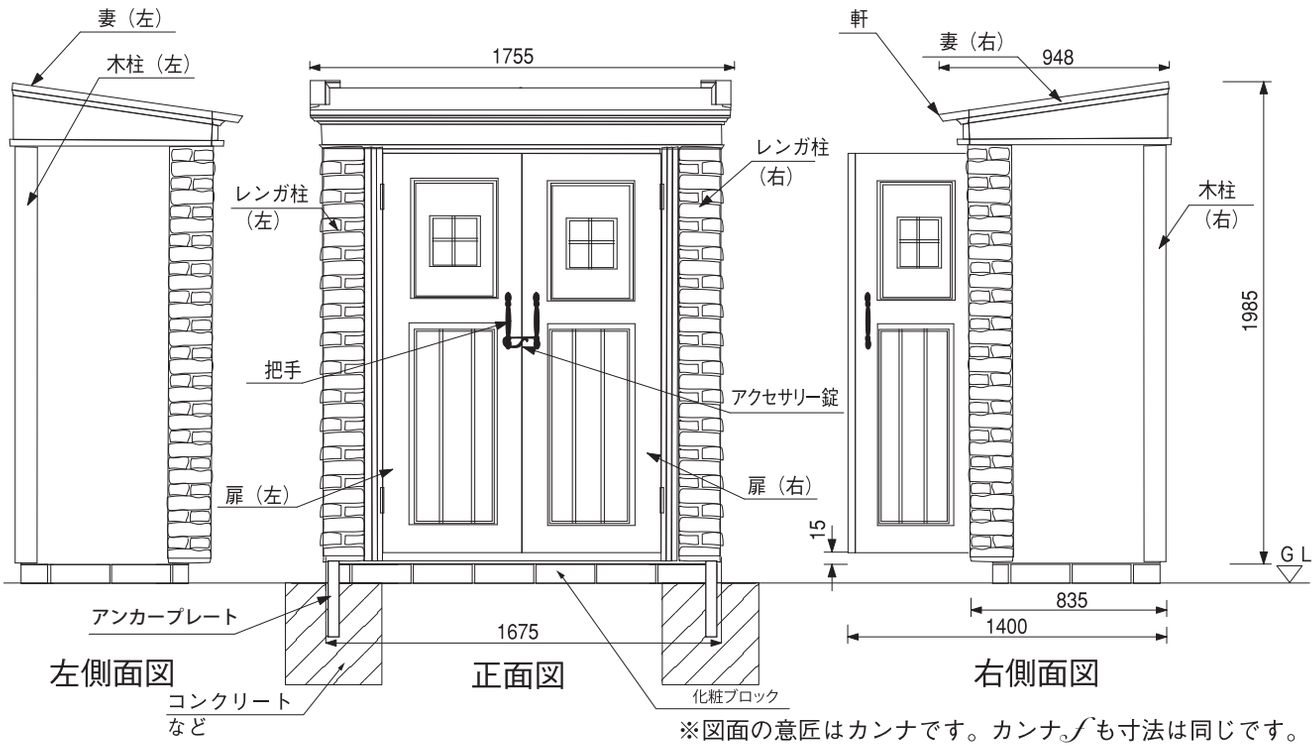
梱包名称	部品名称	数量
ステーセット	ステー	右1,左1
	十字穴付六角ボルト M5×15	8
軒取付ねじセット	トラスタッピングねじ Φ4×14	2
	平ワッシャー	2
	蝶ナット M5	2
D70妻取付ねじセット	トラスタッピングねじ Φ4×14	6
	平ワッシャー 外径Φ14	2
	平ワッシャー 外径Φ18	2
	平ワッシャー 外径Φ25	2
	六角トリマーセムスねじ M5×25	2
	ナット M5	2
	なべ小ねじ M8×16	2
	ナット M8	2
D70柱取付ねじセット	エプトシーラー	24
	トラスタッピングねじ Φ4×14	24
D70本体組立ねじセット	十字穴付六角ボルト M5×15	76(予備3)
	十字穴付超低頭ねじ M5×12	6
	トラス小ねじ M8×14	6
	板ナット M5	24(予備2)
棟取付ねじセット	トラスタッピングねじ Φ4×12	1
フックセット	転倒防止用フック	2
	トラス小ねじ(アイボリー)M5×8	4
	袋ナット M5	4
左扉ロックセット	左扉ロック	1
	左扉ロック受け	1
	十字穴付六角ボルト M5×15	2
	小頭皿小ねじ M4×15	4
棚受ダボセット	棚受ダボ	16
D70キャップセット	取り外し穴キャップ	3
扉吊りこみ治具	扉吊りこみ治具	1
ドア用パッキンセット	エプトシーラー	2
組立説明書セット	組立説明書	1
	よくあるご質問	1
取扱説明書セット	取扱説明書	1
	保証書	1

意匠部

梱包名称	部品名称	数量
D70屋根セット	D70用妻(右)	1
	D70用妻(左)	1
	軒	1
柱セット	レンガ柱(右)もしくは石柱(右)	1
	レンガ柱(左)もしくは石柱(左)	1
	木柱(右)	1
	木柱(左)	1
扉セット	扉(右)	1
	扉(左)	1

■施工寸法図（単位：ｍｍ）

間 口 寸 法　W＝1,070　H＝1,650
庫内有効寸法　W＝1,575　H＝1,810　D＝670
棚 板 寸 法　W＝790　D＝340（×4枚）

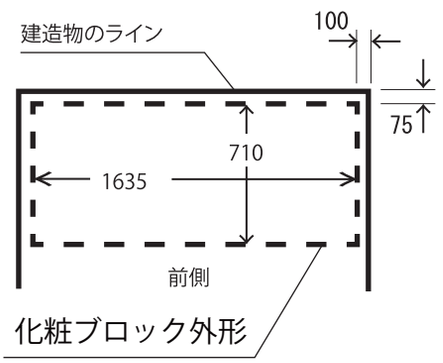


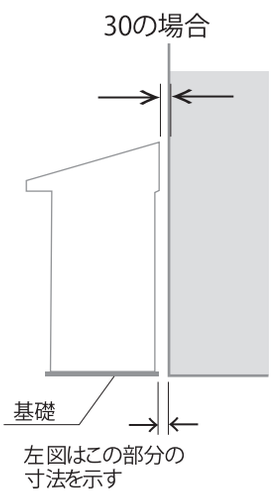
※図面の意匠はカンナです。カンナ𠮟も寸法は同じです。

建造物との取り合い

●建造物と基礎の間隔は下記の寸法以上離してください。
（下図は完成時に建造物との最小クリアランスを約30mmとした場合です。）

●基礎については意匠上[レンガ]や[化粧ブロック]をお勧めします。



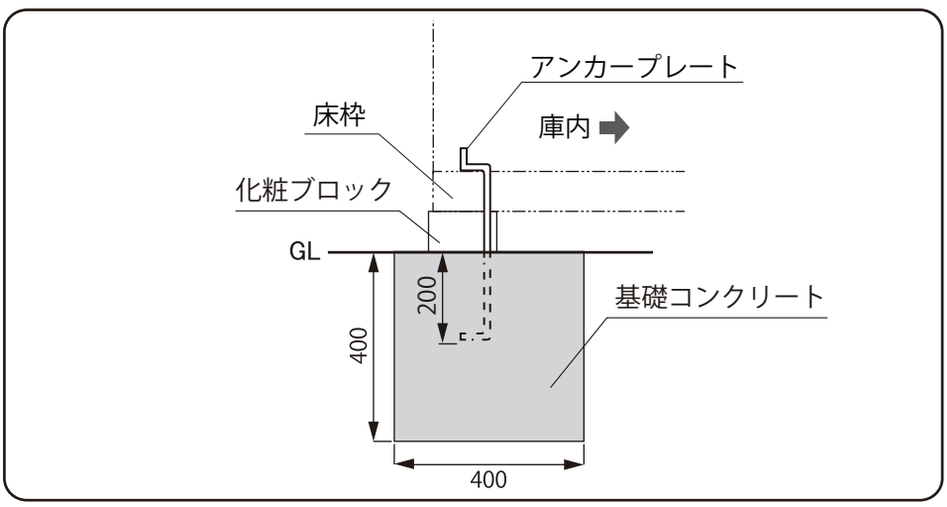


※推奨

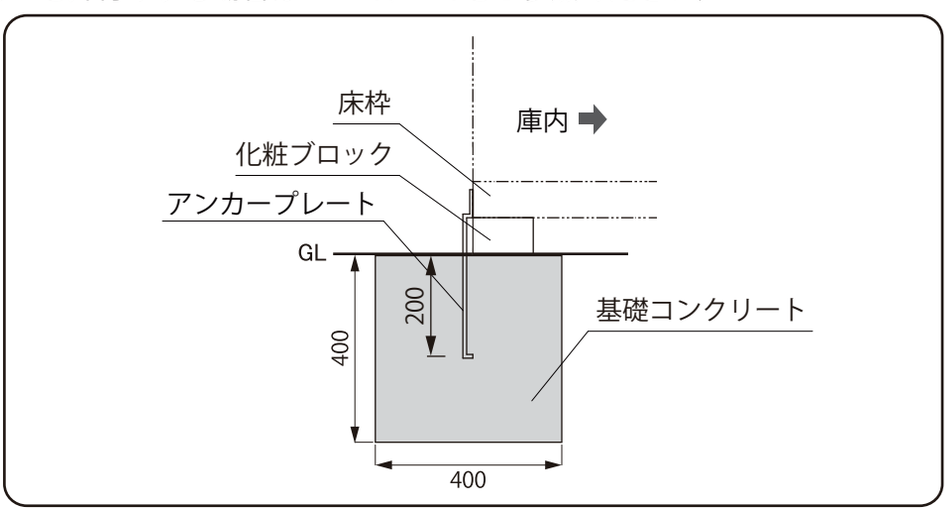
一般に物置を設置する場合、土台としてコンクリートブロックを使用しますが、カンナの施工には市販のレンガやレンガ調化粧ブロックをお薦めします。
ここでは化粧ブロックを使用した施工手順を説明します。

1-1 取付けるアンカーの種類を決めます。

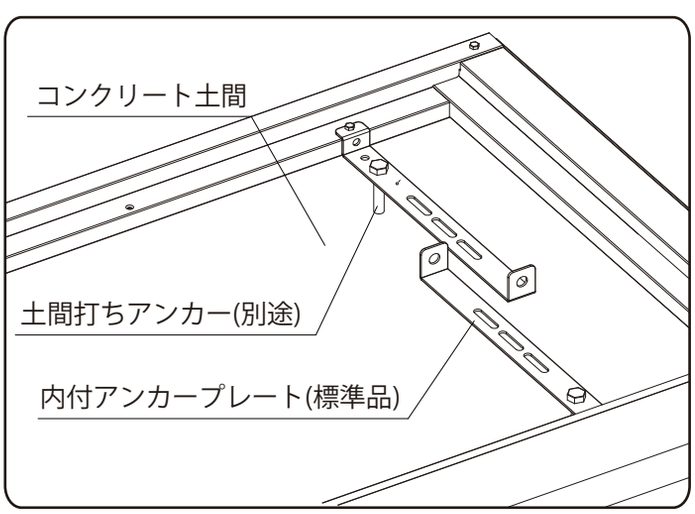
（a）アンカーを内付けする場合はP4～P6、P18をご参照ください。



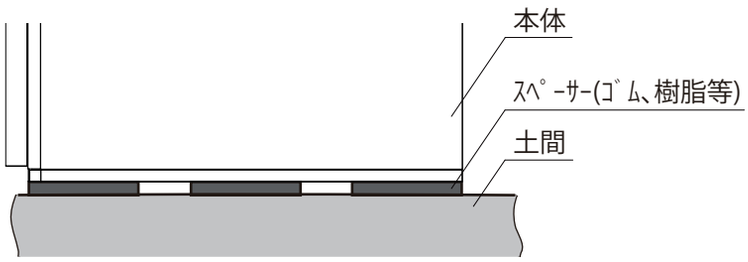
（b）アンカーを外付けする場合はP4~P6、P18をご参照ください。



（c）土間打ちアンカー（別途）を取付ける場合は、P18をご参照ください。



※土間に水が溜まるような場所では
防錆のためにスペーサー等で土間と
床枠に多少の隙間を設けるように
してください。



1-2 基礎を作ります。

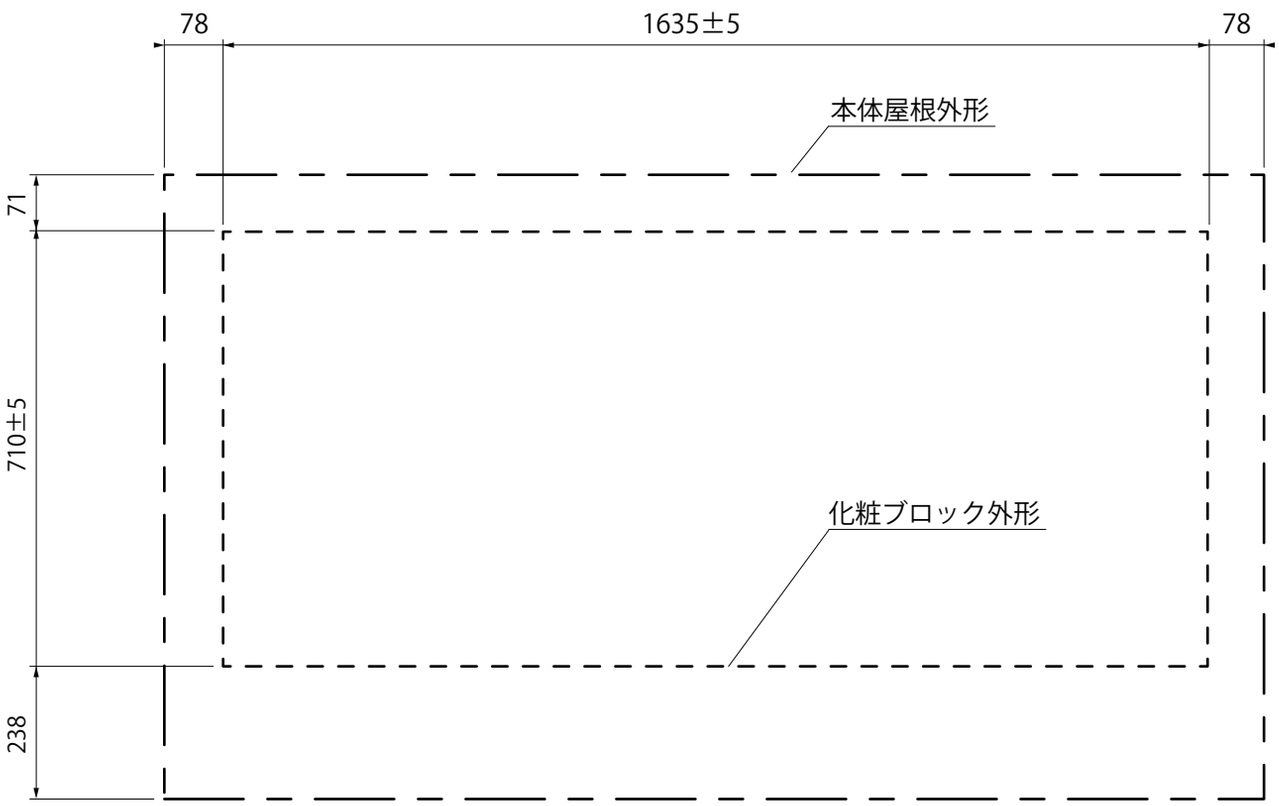
（1）下図を参考に設置する場所を決定します。

必要な部品・工具など	
化粧ブロックなど	18個 程度（240×114×80の場合）
水準器	

※化粧ブロックなどについては、別途ご用意ください。

※本書に記載の基礎寸法は下記の条件に基づいて算出しています。
[設定条件]
庫内に100kgの荷物が納められている場合を想定し、耐風圧を風速34m/sec.としています。

●基礎施工図 [単位 : mm]

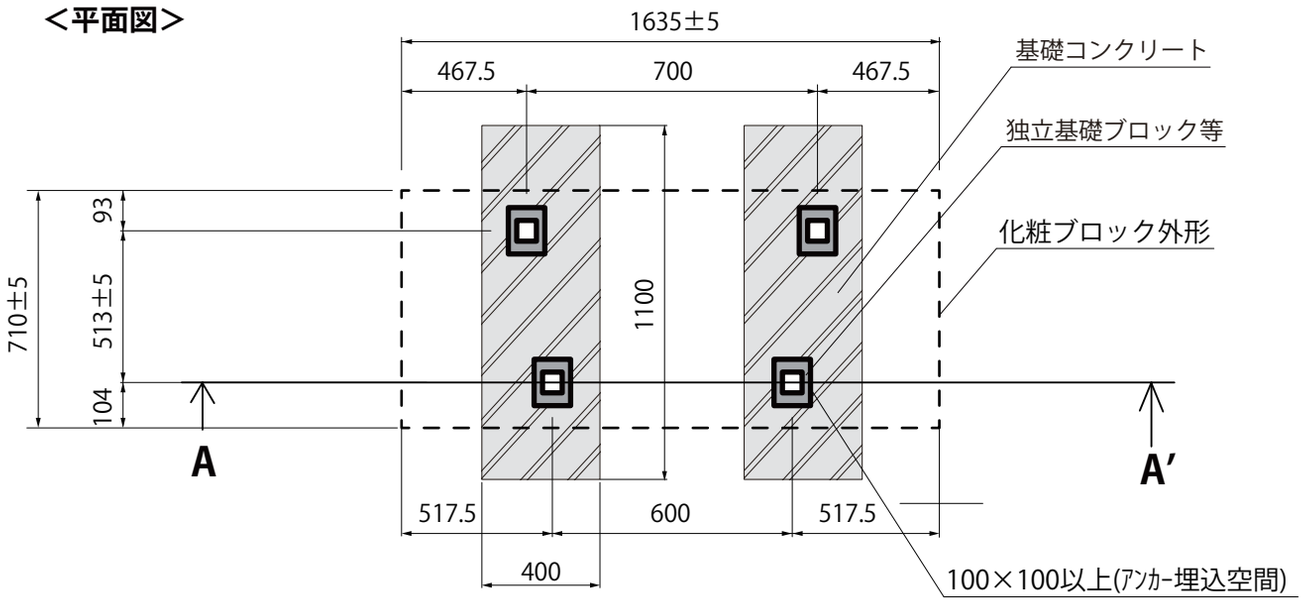


正面

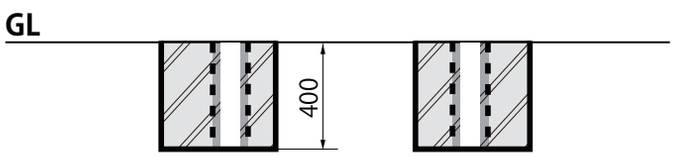
（2）下図とP3を参考に基礎穴を掘り、基礎コンクリートを流し込んでください。
※アンカープレート位置には、独立基礎ブロックを置くか、別途型枠を組むなどして
アンカープレートを埋め込む空間を確保してください。

アンカーを内付けする場合（例）

＜平面図＞

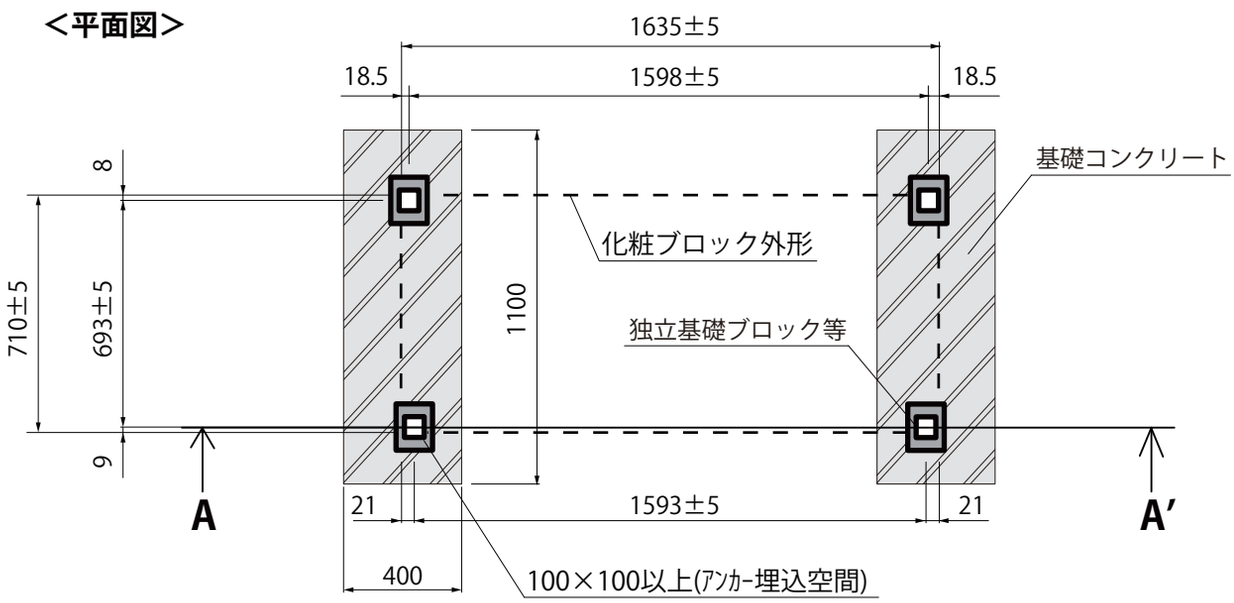


＜A-A′断面図＞

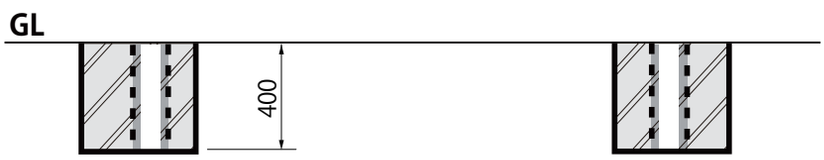


アンカーを外付けする場合（例）

＜平面図＞



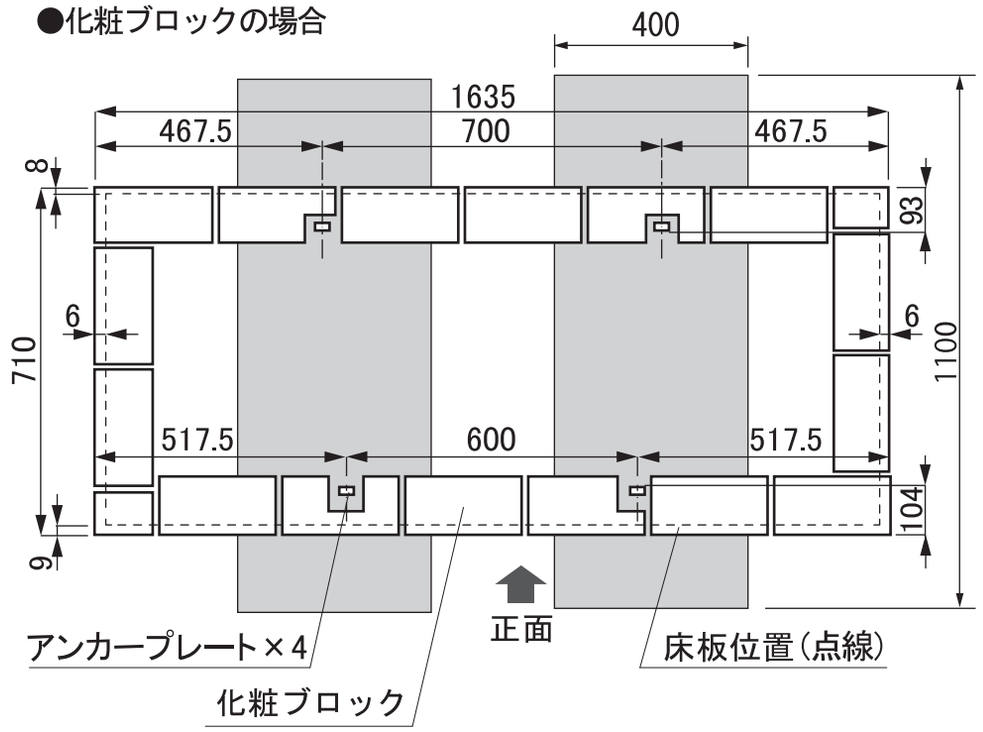
＜A-A′断面図＞



（3）基礎コンクリートを養生した後に、地ならし･地固めをし、化粧ブロック等を下図のように並べます。
（4）水準器等を用いて水平を確認します。アンカー位置に掛かる部分のブロックは切断してください。

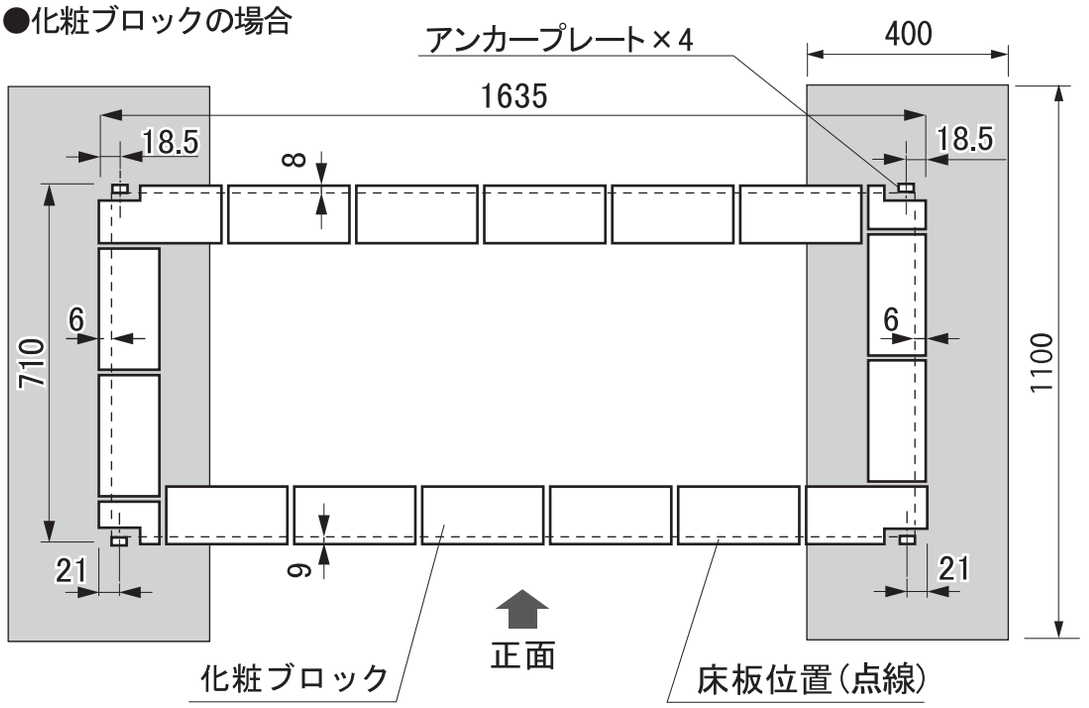
アンカーを内付けする場合（例）

●化粧ブロックの場合



アンカーを外付けする場合（例）

●化粧ブロックの場合

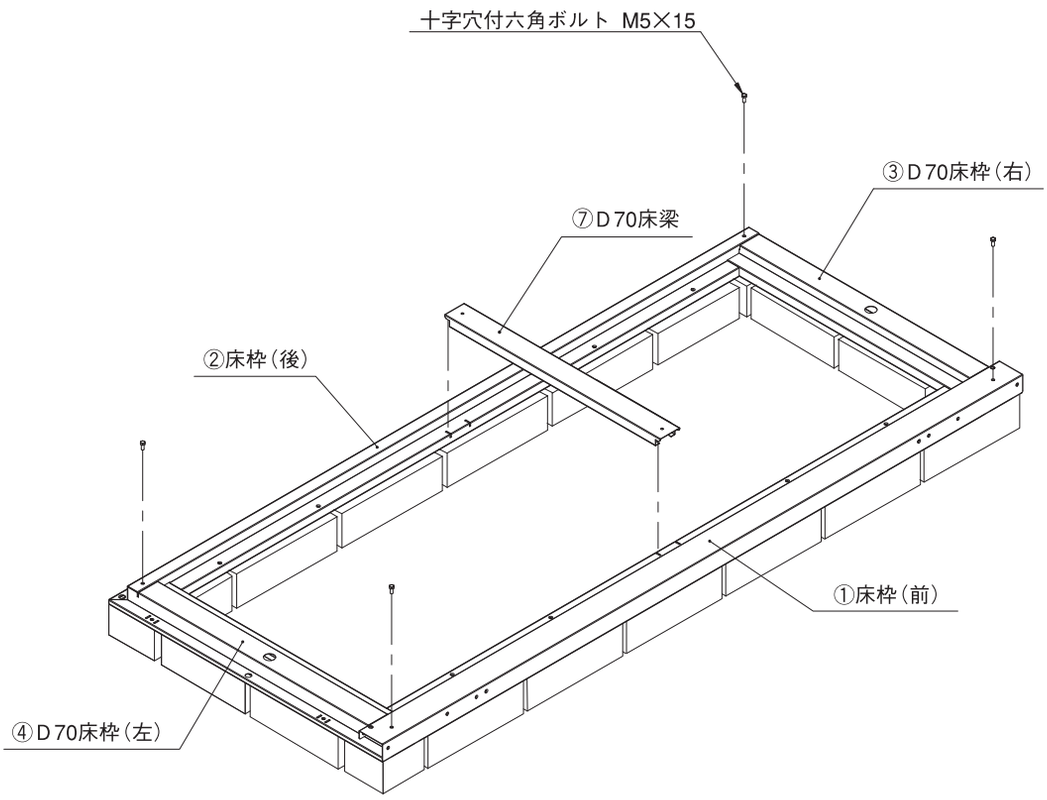


2 床枠と、床梁を組立てます。

(1) 床枠③(右)④(左)に、床枠①(前)②(後)をかぶせ、六角ボルトで固定します。

(2) センターに⑦D70床梁をセットします。

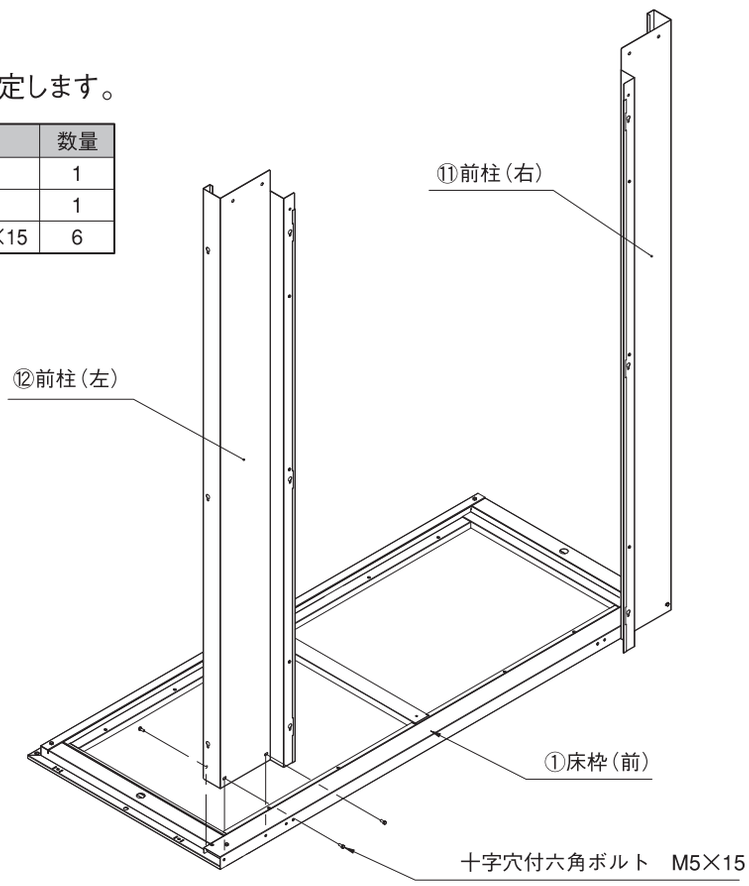
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH081/ DSCJ081	①	床枠（前）	1
	②	床枠（後）	1
DSCH181/ DSCJ181	③	D70床枠（右）	1
	④	D70床枠（左）	1
	⑦	D70床梁	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	4



3 前柱を組立てます。

⑪、⑫前柱を床枠（前）に六角ボルトで固定します。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH082/ DSCJ082	⑪	前柱（右）	1
	⑫	前柱（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	6

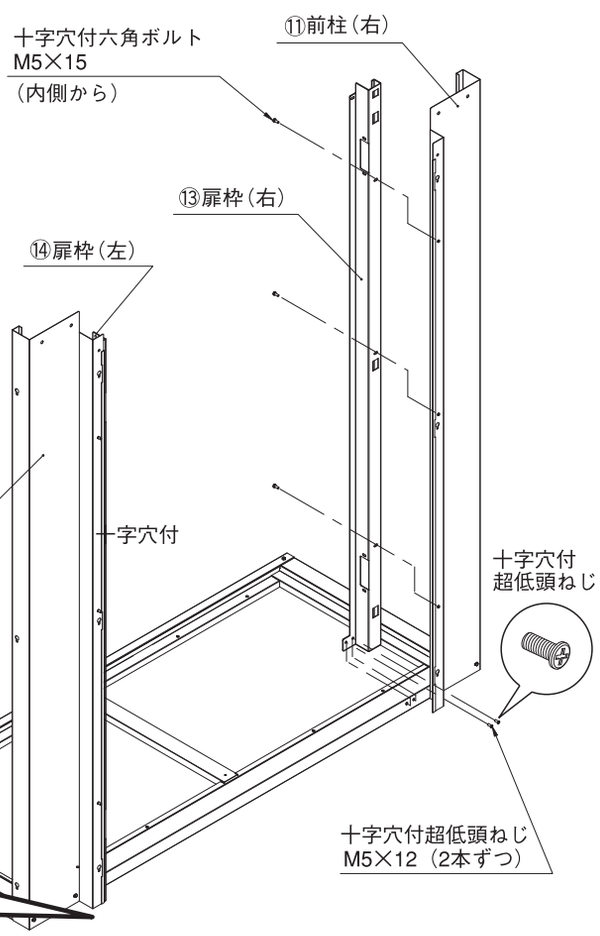


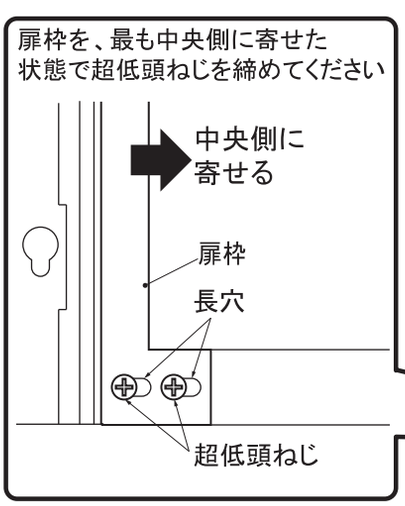
4 扉枠を取付けます。

⑬、⑭扉枠を、前柱の裏側から六角ボルトで、また、下部を表側から超低頭ねじで仮固定します。

このとき、⑬、⑭扉枠を、それぞれ最も中央側に寄せた（間口を狭めた）状態で 下部の超低頭ねじを締めてください。（下図 吹き出し参照）

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH082/ DSCJ082	⑬	扉枠（右）	1
	⑭	扉枠（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	6
		十字穴付超低頭ねじM5×12	4

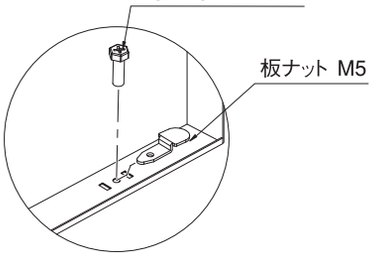




5 側壁を組立てます。

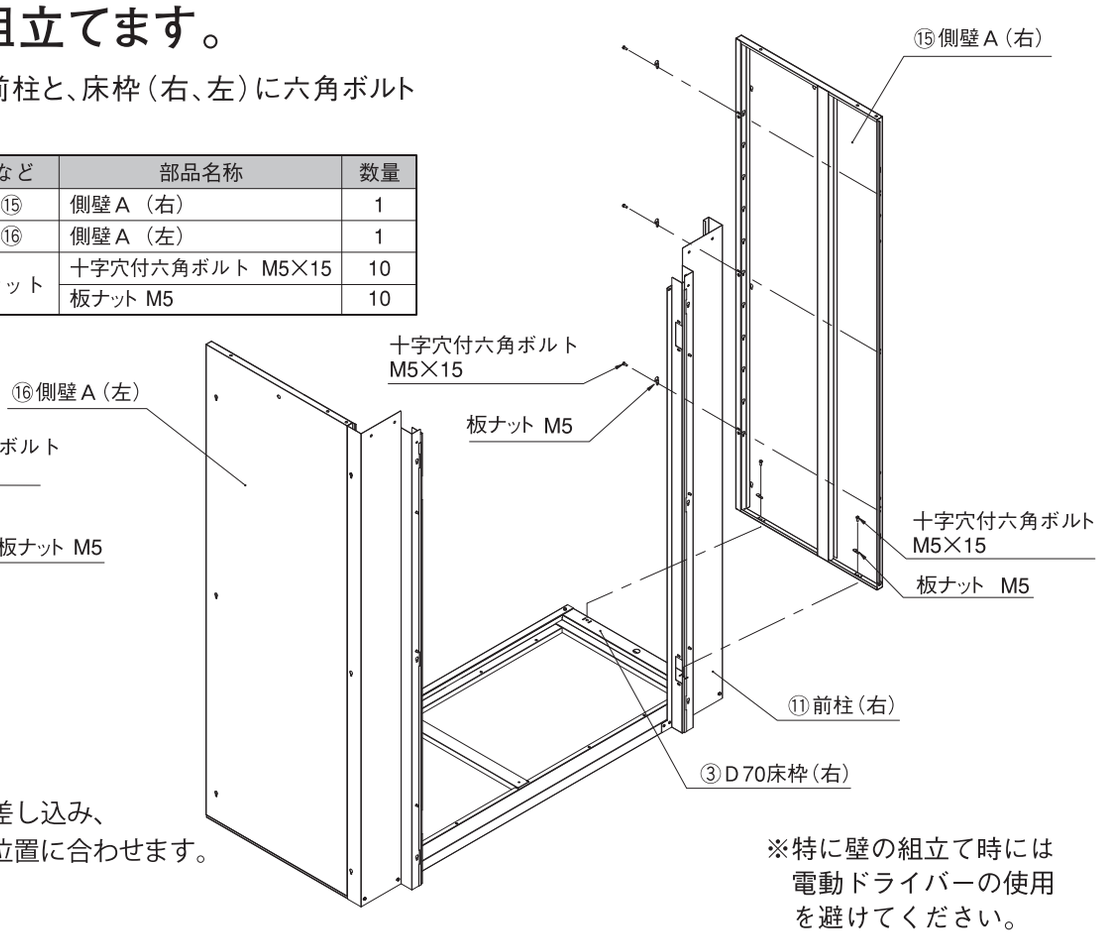
⑮、⑯側壁Aを前柱と、床枠（右、左）に六角ボルトで固定します。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH086/DSCJ086	⑮	側壁A（右）	1
	⑯	側壁A（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	10
		板ナット M5	10



板ナットの使用方法

板ナットを□穴から差し込み、
タップ部を裏側○穴位置に合わせます。

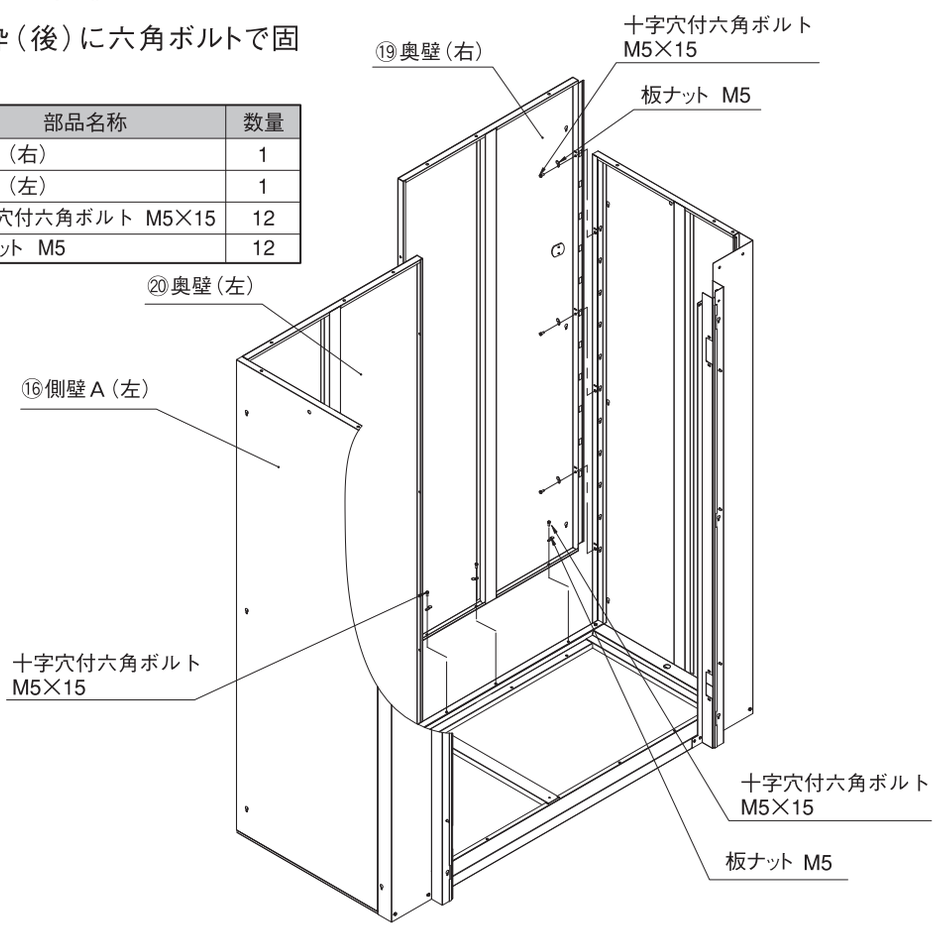


※特に壁の組立て時には
電動ドライバーの使用
を避けてください。

6 奥壁を組立てます。

⑲、⑳奥壁を側壁と、床枠（後）に六角ボルトで固定します。

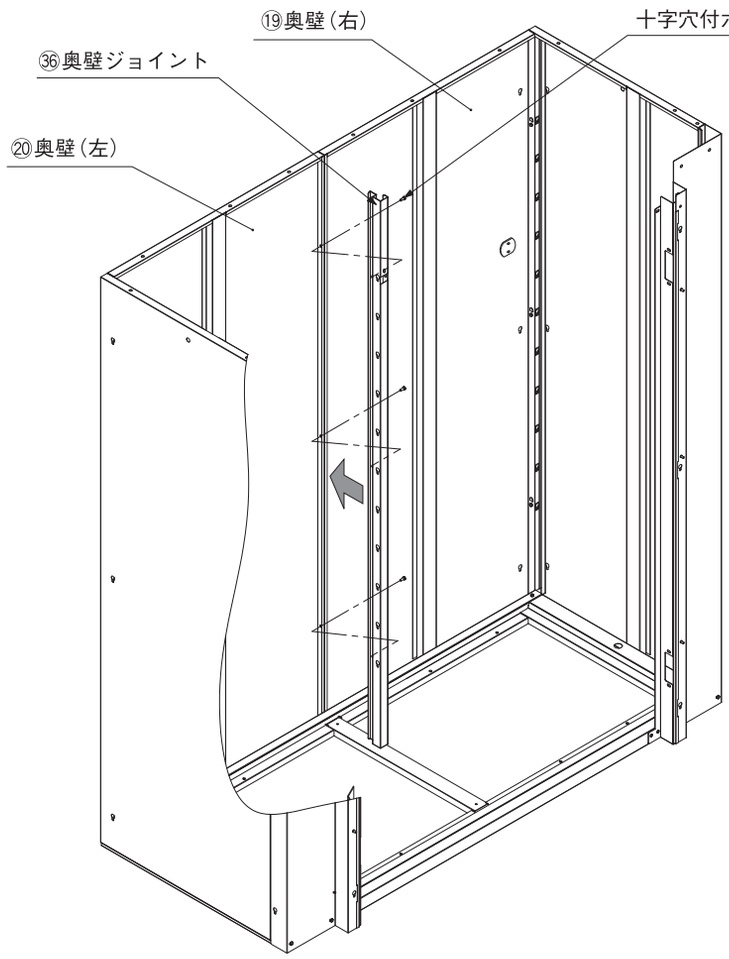
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH087/DSCJ087	⑲	奥壁（右）	1
	⑳	奥壁（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	12
		板ナット M5	12



7 奥壁（右）（左）を連結します。

㊱奥壁ジョイントを、奥壁（右、左）の合わせ部に六角ボルトで固定します。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH087/ DSCJ087	㊱	奥壁ジョイント	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	3

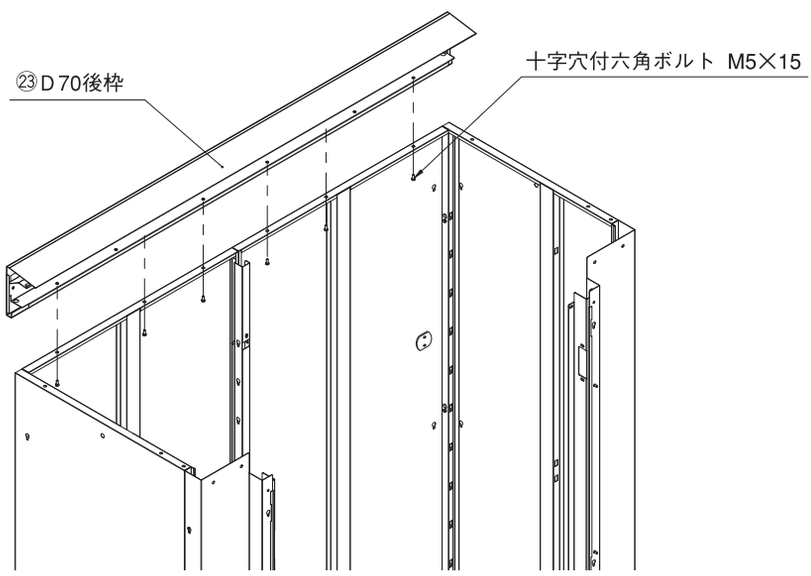


※奥壁ジョイントをはめ込んでから右側よりねじで固定します。

8 後枠を組立てます。

㉓D70後枠を、奥壁の上部にかぶせ、六角ボルトで固定します。

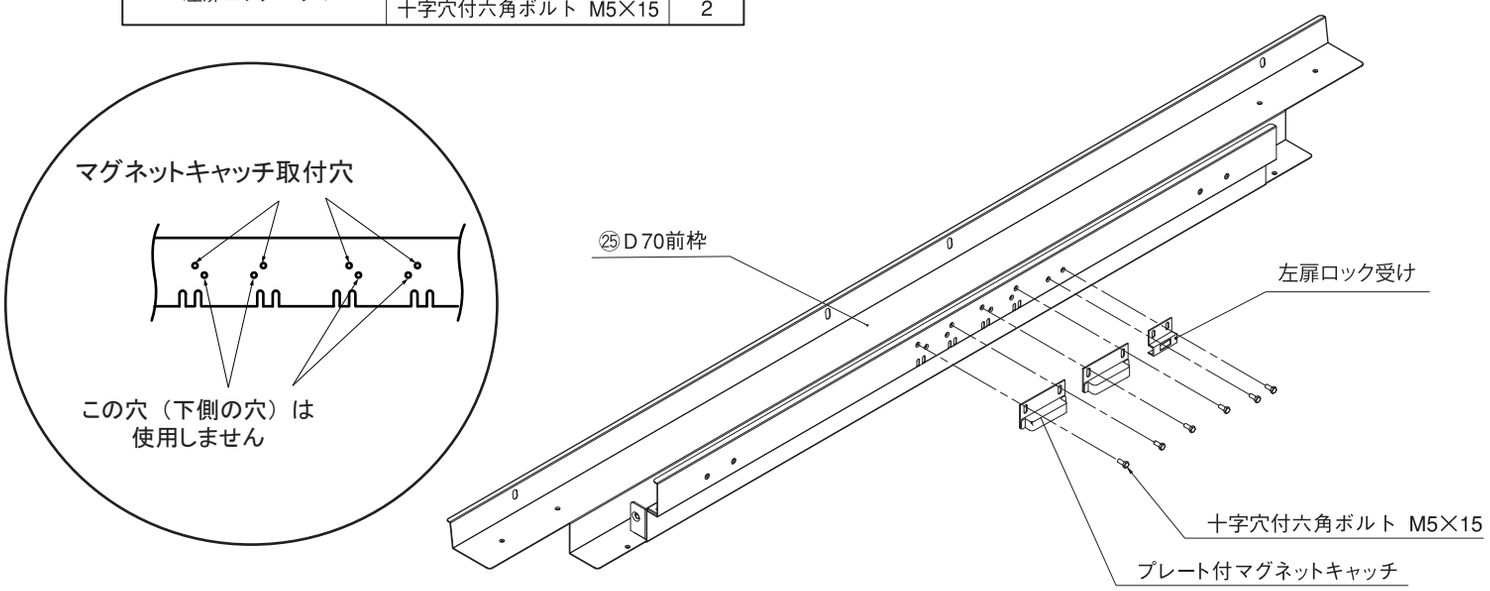
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH183/ DSCJ183	㉓	D70後枠	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	6



9 前枠に、先付け部品を取付けます。

㉕D70前枠にマグネットキャッチと、左扉ロック受けを六角ボルトで固定します。

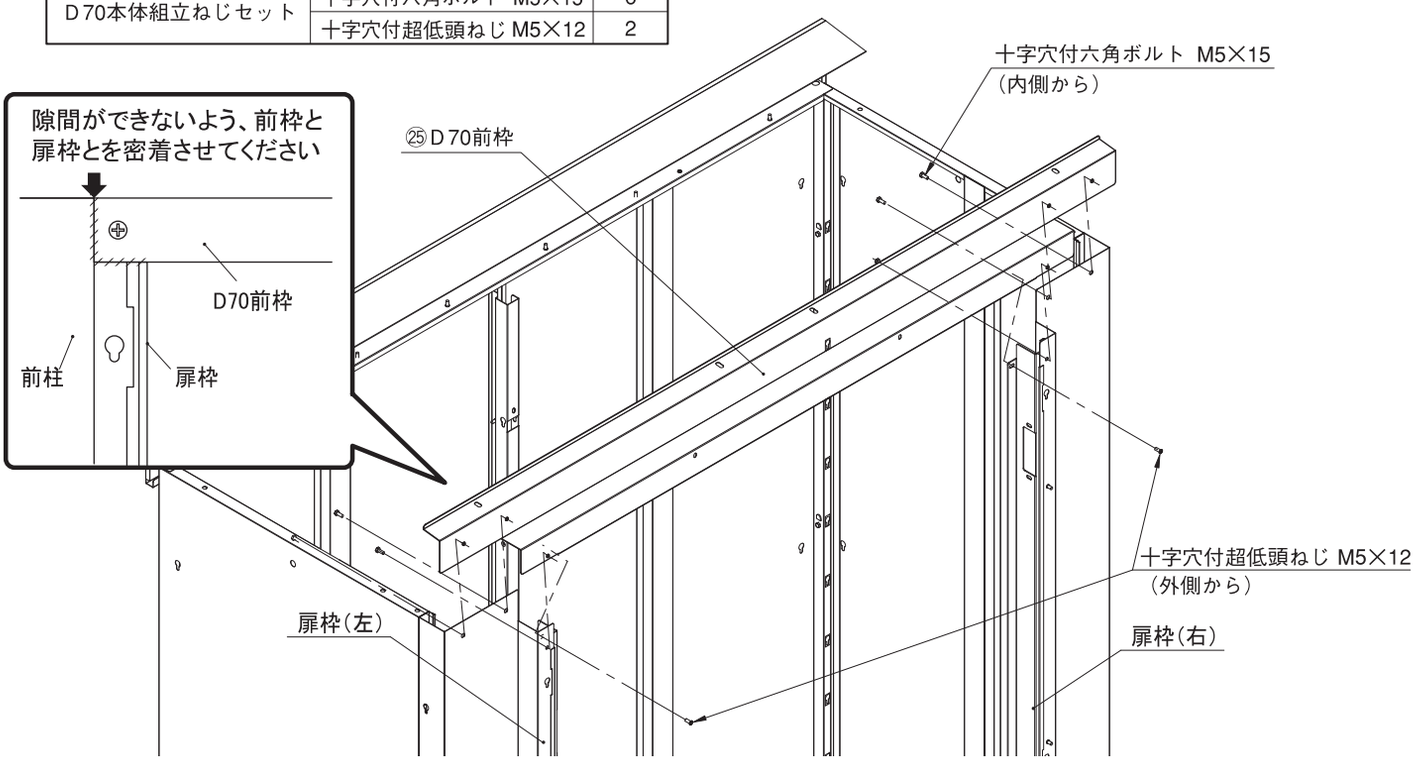
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH183/ DSCJ183	㉕	D70前枠	1
キャッチセット		プレート付マグネットキャッチ	2
		十字穴付六角ボルト M5×15	4
左扉ロックセット		左扉ロック受け	1
		十字穴付六角ボルト M5×15	2



10 前枠を前柱に取付けます。

㉕D70前枠を前柱にかぶせ、六角ボルトと、超低頭ねじで固定します。
この時、前枠と扉枠とをぴったりと密着させ、隙間ができないようにしてください。（下図 吹き出し参照）

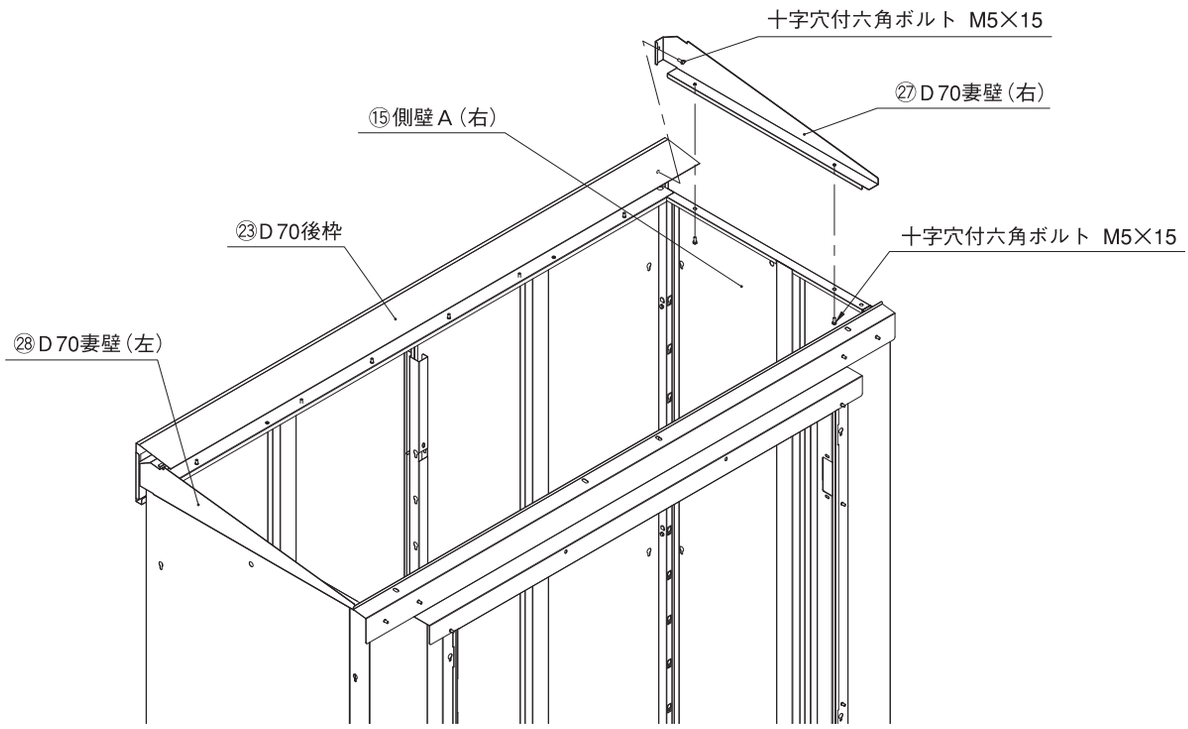
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH183/ DSCJ183	㉕	D70前枠	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	6
		十字穴付超低頭ねじ M5×12	2



11 妻壁を組立てます。

㉗D70妻壁（右）と㉘D70妻壁（左）を側壁と、後枠に六角ボルトで固定します。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH184/ DSCJ184	㉗	D70妻壁（右）	1
	㉘	D70妻壁（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	6

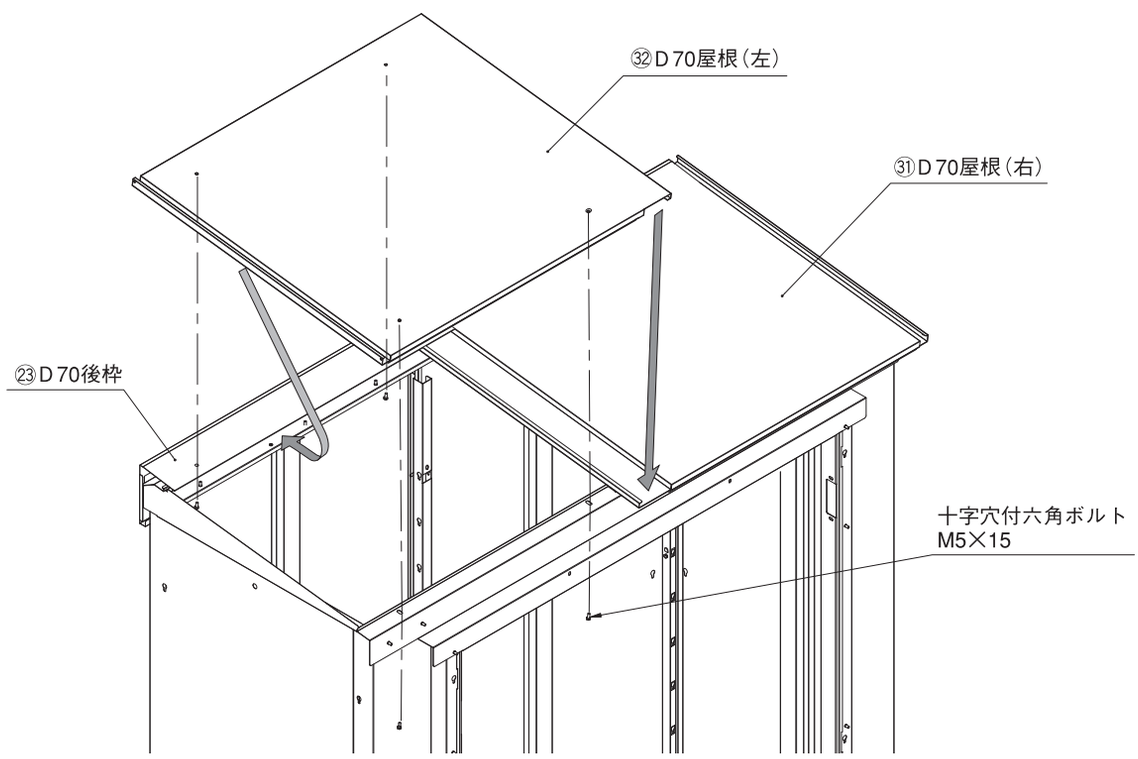


12 屋根を組立てます。

（1）㉛D70屋根（右）を図の要領で後枠に差込み、内側より後枠と前枠に六角ボルトで固定します。

（2）㉜D70屋根（左）を㉛屋根（右）に、合わせ部を重ねた状態で後枠に差込み、同様に六角ボルトで固定します。

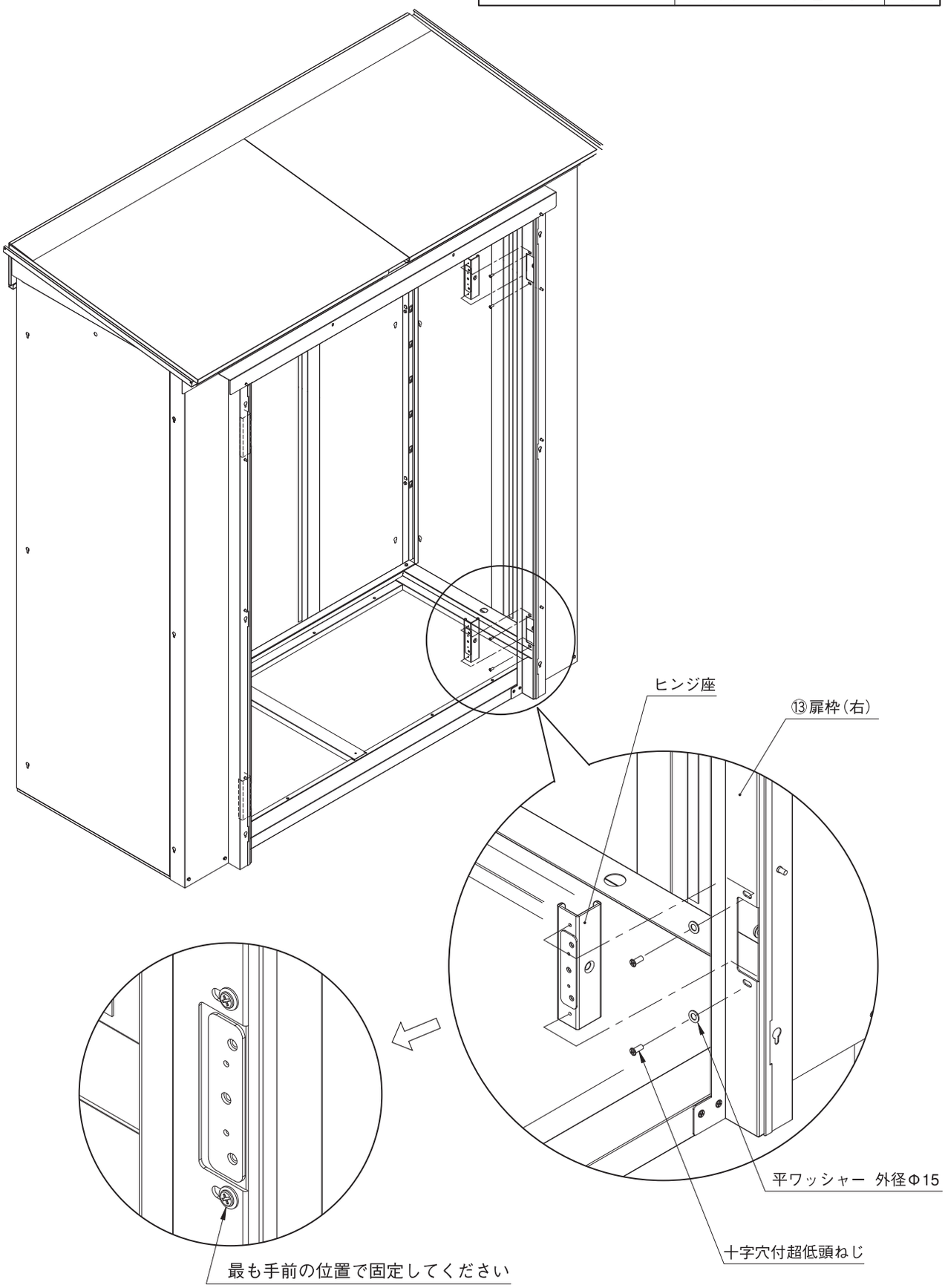
梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH184/ DSCJ184	㉛	D70屋根（右）	1
	㉜	D70屋根（左）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	8



13 ヒンジ座を取付けます。

ヒンジ座を扉枠裏面にあてがい、超低頭ねじで固定します。この時、ヒンジ座は最も前側（手前側）の位置で固定してください。

梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
ヒンジセット	ヒンジ座	4
	十字穴付超低頭ねじ	8
	平ワッシャー　外径Φ15	8

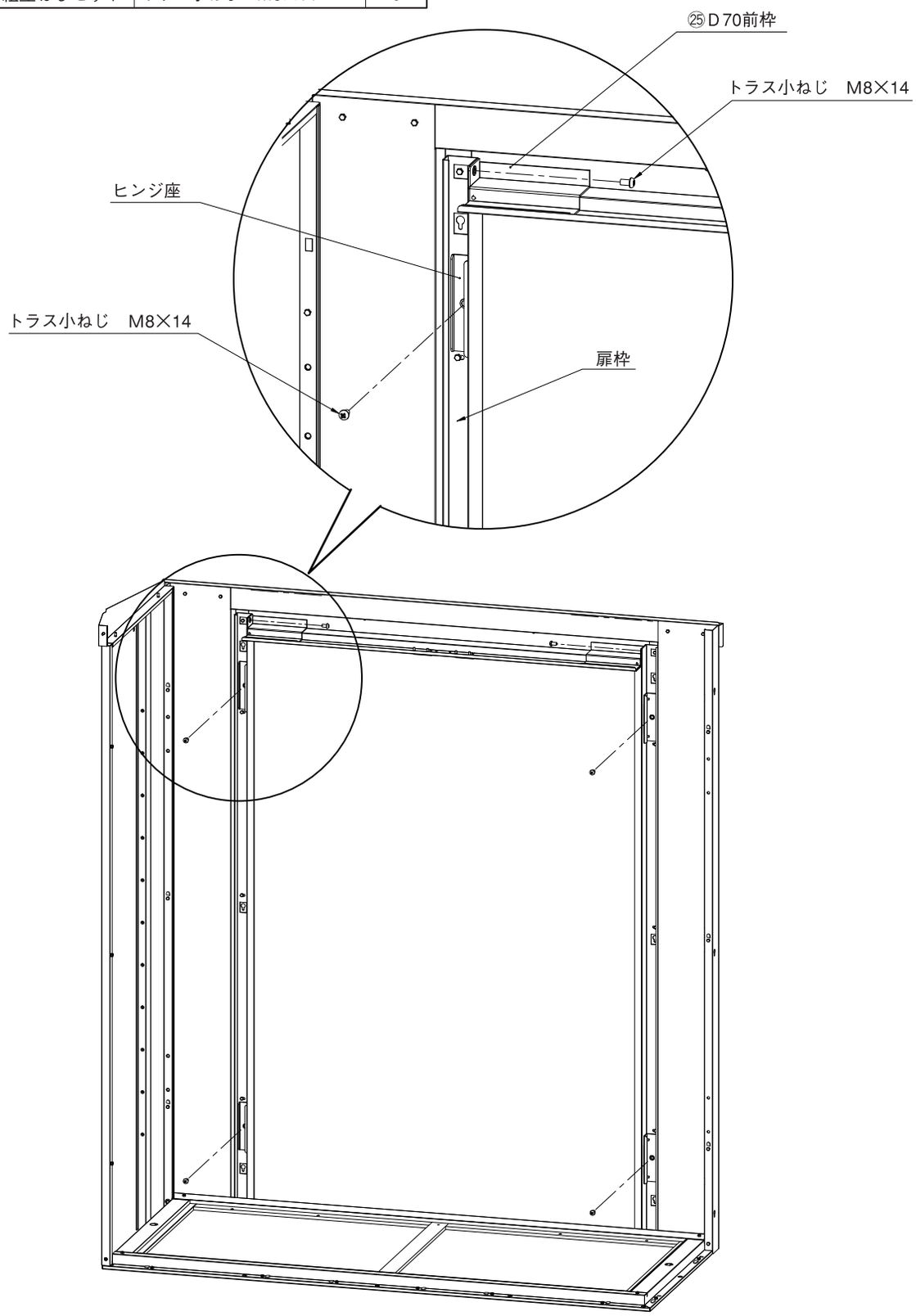


14 アジャスト用ねじを差込みます。

(1)トラス小ねじ を、ヒンジ座裏面よりねじ込みます。この際、ねじが軽く止まる位置でねじ込みを終えてください。

(2)トラス小ねじ を、前枠裏面下図の位置にねじ込みます。同様に、ねじが軽く止まる位置で、ねじ込みを終えてください。

梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
D70本体組立ねじセット	トラス小ねじ　M8×14	6



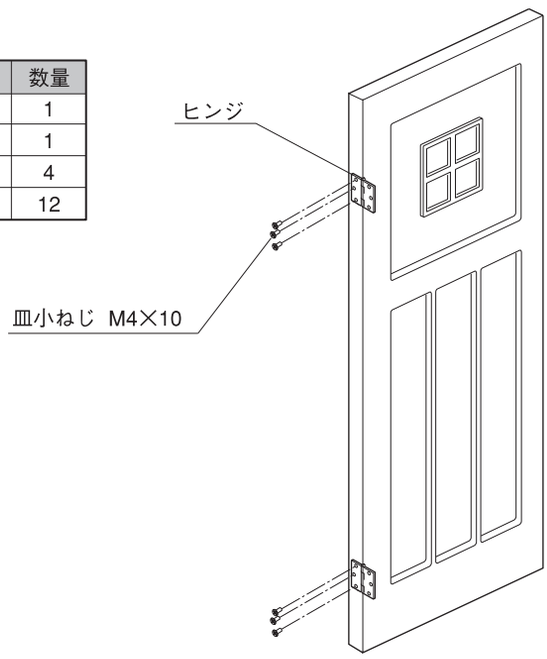
※裏方向からの透視図です。

意匠部の組立方法

■扉の取付け

1 扉にヒンジを取付けます。

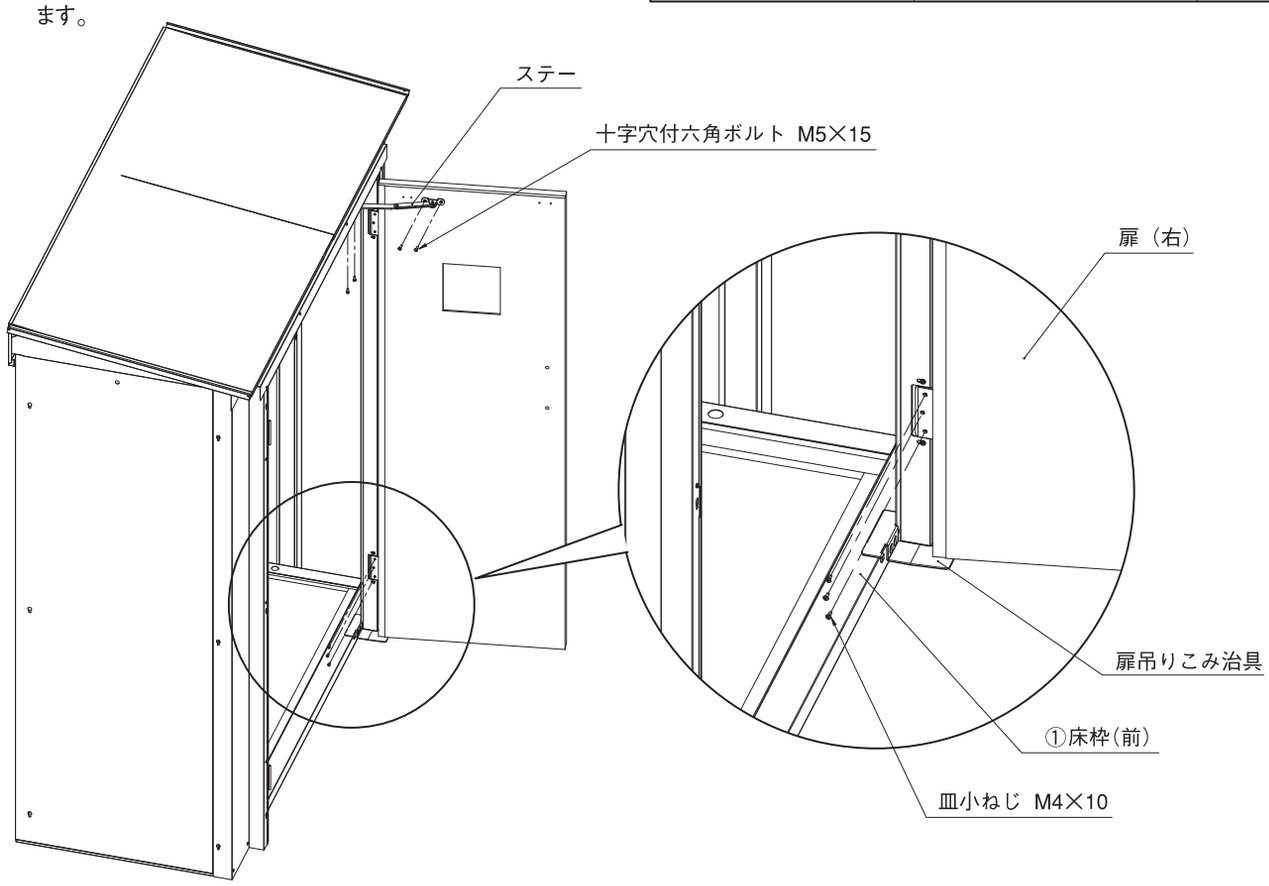
梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
扉セット	扉（右）	1
	扉（左）	1
ヒンジセット	ヒンジ	4
	皿小ねじ　M4×10	12



2 扉（右）（左）を取付けます。

（1）扉吊込み治具を扉枠下部に引掛けます。
（2）治具の上に扉吊元側を仮置きし、足で治具を軽く踏みながらヒンジの穴位置を合わせ、皿小ねじで固定します。
（3）扉吊込み治具は、使用後に所定の方法で廃棄してください。
（4）ステーを①扉、②本体の順に十字穴付六角ボルトで取付けます。

梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
ヒンジセット	皿小ねじ　M4×10	12
部品セットA	扉吊りこみ治具	1
ステーセット	ステー	右1、左1
	十字穴付六角ボルト M5×15	8



3 扉の出入りと、上下の調整をします。

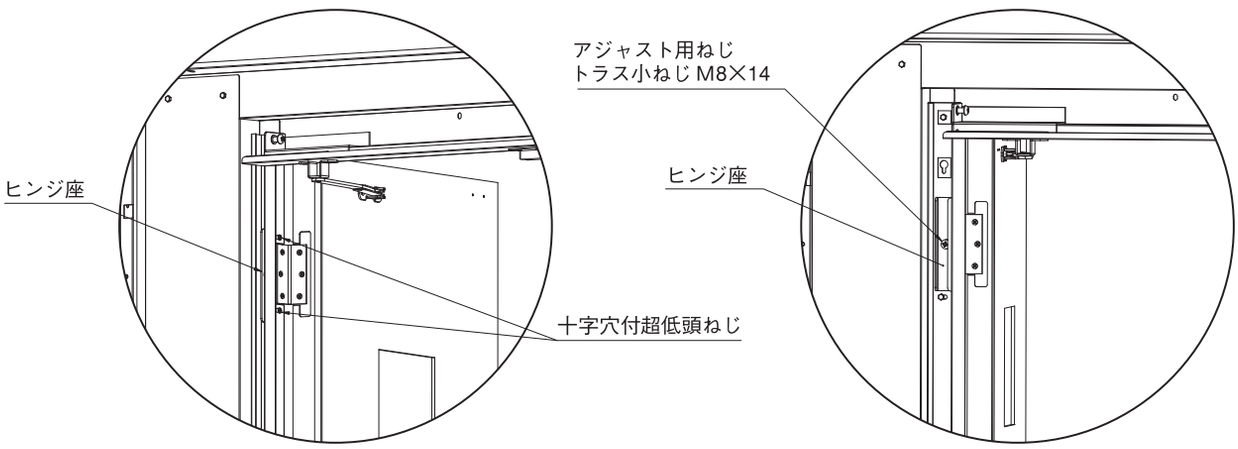
ヒンジ座の位置を調整する事によって、扉位置の調整を行ないます。下記の（1）～（3）の手順で行なってください。

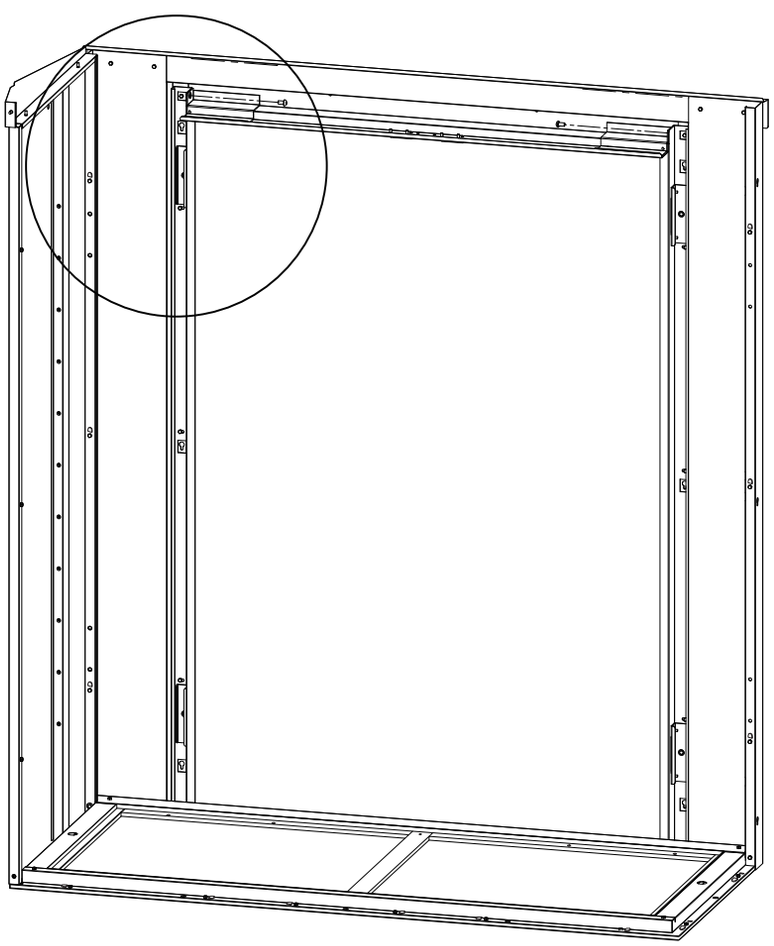
（1）ヒンジ座を固定している超低頭ねじ（各ヒンジ座につき2本ずつ）を緩めます。

（2）ヒンジ座を前後、上下に動かして扉の位置調整をします。

〔ヒンジ座の裏面に付いているアジャスト用ねじ（トラス小ねじ）をねじ込むことによって、ヒンジ座を庫内側に移動できます〕

（3）2枚の扉の位置が決まれば、（1）で緩めたねじを締めこみます。





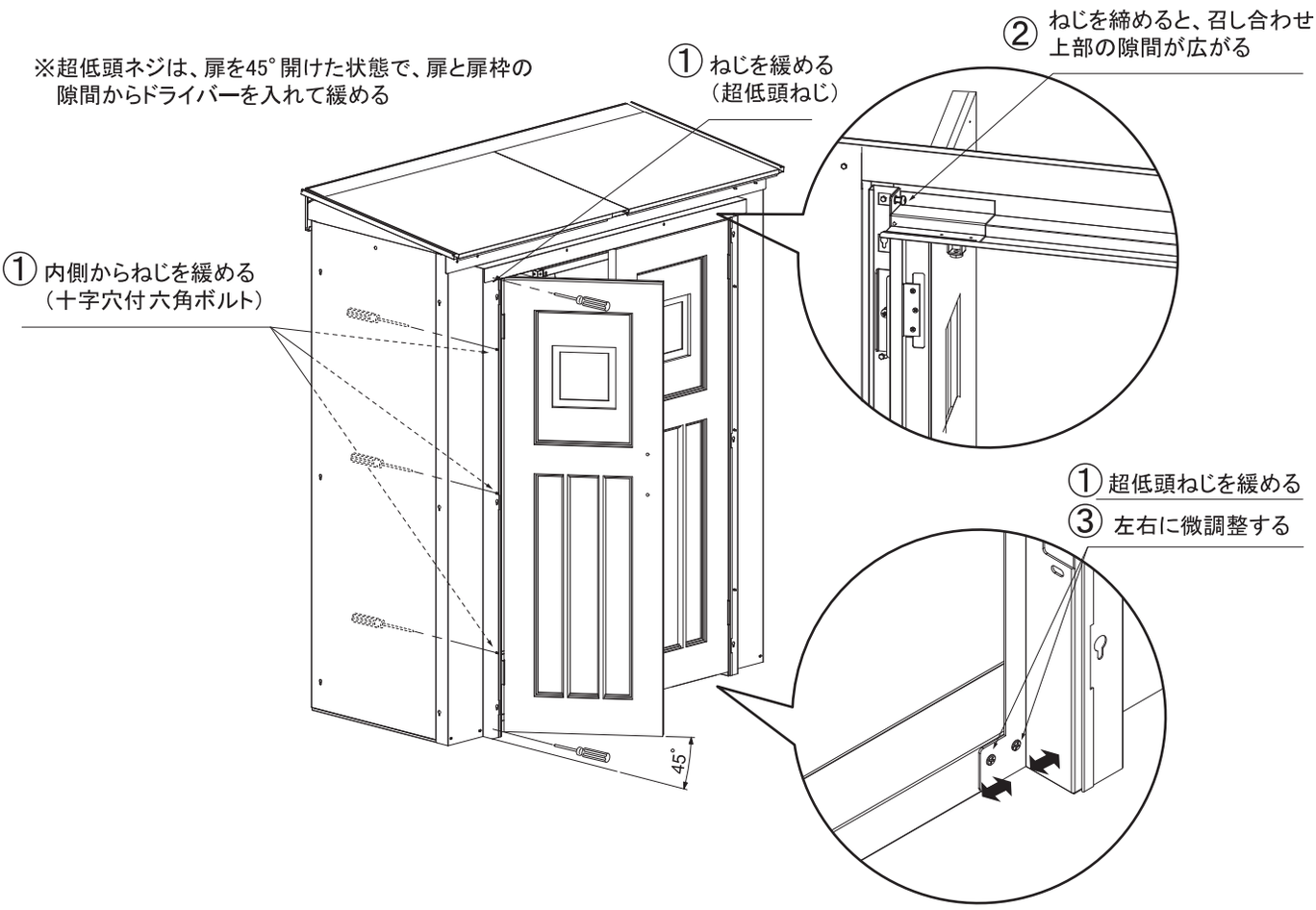
※裏方向からの透視図です。

4 左右の扉の隙間調整をします。

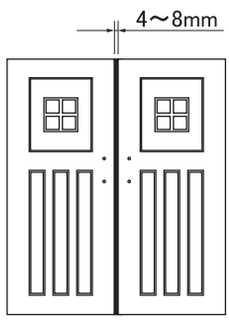
扉召し合わせ隙間の調整は、下記の(1)～(4)の手順で行ってください。

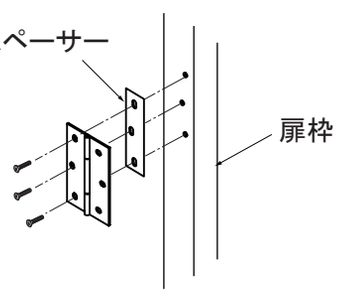
梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
ヒンジセット	ヒンジスペーサー	6

(1)扉枠(右、左)を固定しているねじ(片側につき超低頭ねじ 3本、十字穴付六角ボルト 3本)を緩めます。…下図①参照
(2)扉召し合わせ上部の隙間は、扉枠上部付近(内側)にあるアジャスト用ねじ(トラス小ねじ)を締めこむと広がります。…下図②参照
(3)扉召し合わせ下部の隙間は、扉枠下部付近(外側)にある長穴を使い、左右に微調整します。…下図③参照
(4)調整後、(1)で緩めたねじを締めこみます。



- 召し合わせ隙間が 4 ～ 8mm になるよう調整してください。 上記の調整を行っても隙間が広すぎる場合は、「ヒンジセット」に同梱されているヒンジスペーサーを、ヒンジと扉枠との間に入れてください。



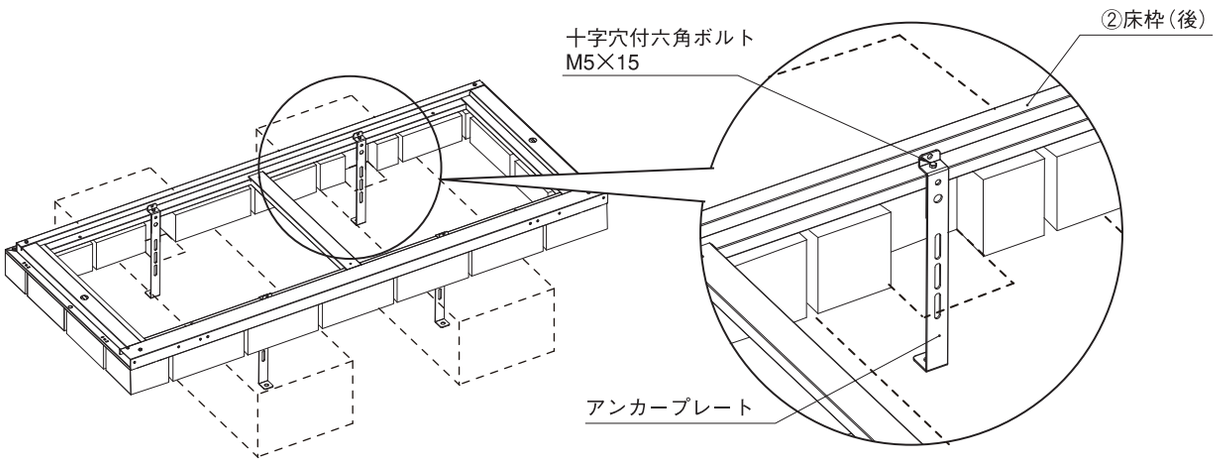


- 上記の調整を行なっても、扉召し合せが調整しきれないときは、基礎のレベルが出ていないことが考えられます。 床枠の下に噛ませものをするなどして調整してください。
- 調整後、扉を開閉し異音がする場合には、ヒンジ部に潤滑スプレーを少量吹きつけてください。

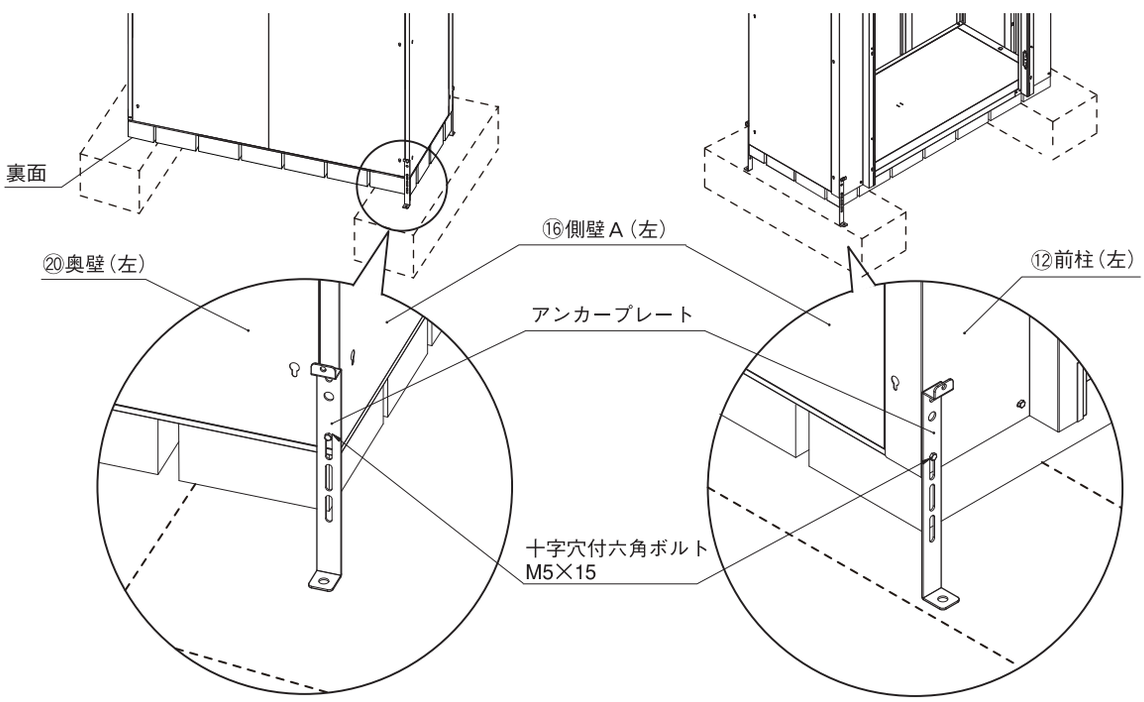
5 アンカー固定をします。

次の3種類の方法のどれかを利用して、アンカー固定を確実に行なってください。

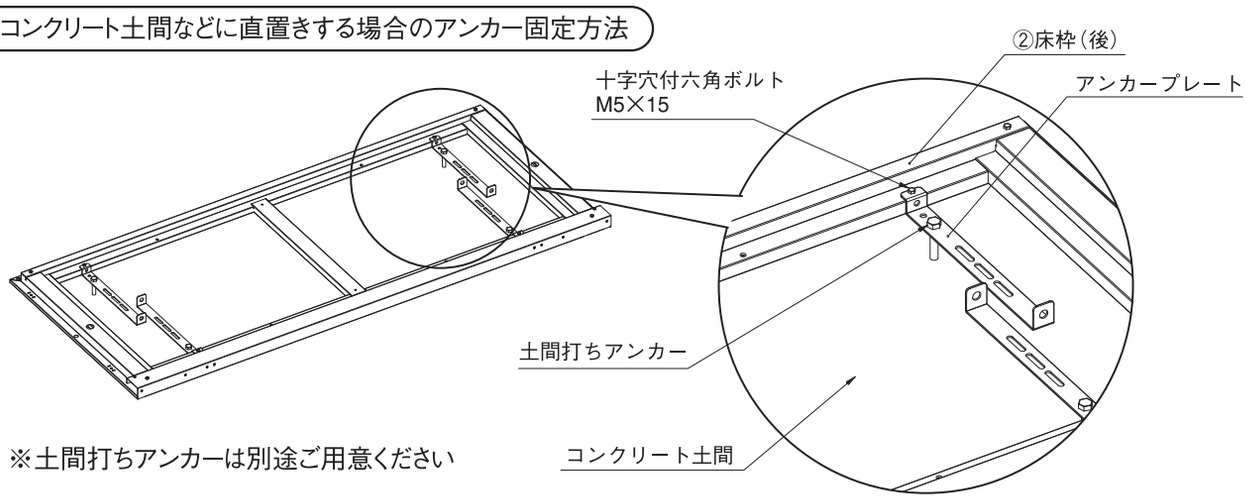
梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
アンカーセット	アンカープレート	4
D70本体組立ねじセット	十字穴付六角ボルト M5×15	4



物置外部にアンカー固定を行なう方法



コンクリート土間などに直置きする場合のアンカー固定方法



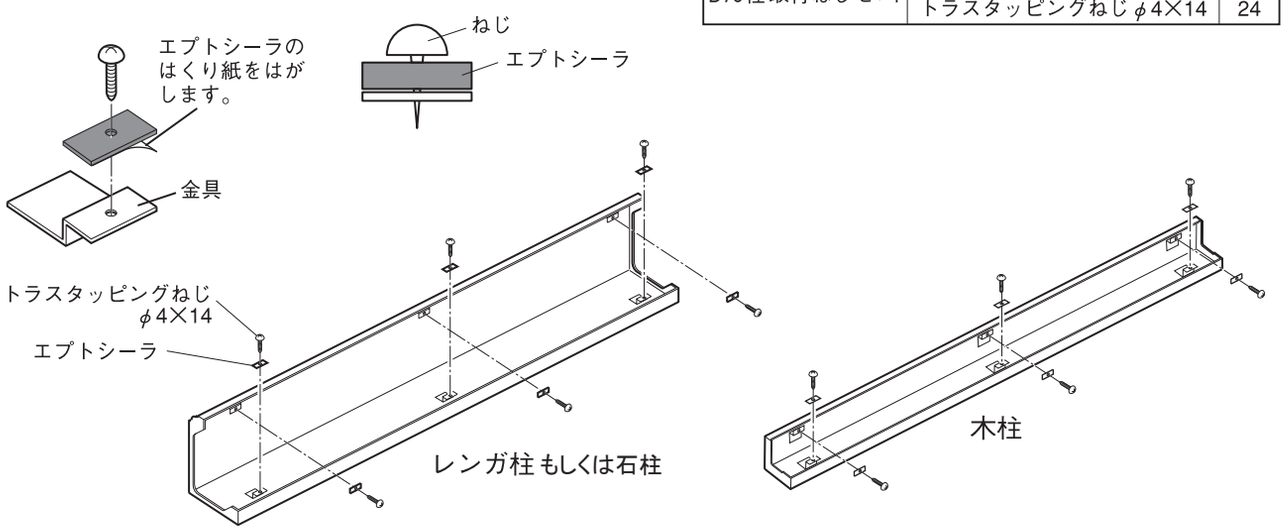
※土間打ちアンカーは別途ご用意ください

柱の取付け

6 エプトシーラとねじを取付けます。

(1) レンガ柱（左)(右)、木柱（左)(右）の金具にエプトシーラを貼ります。
(2) エプトシーラを貼った金具にねじを仮止めします。
※ねじ頭がエプトシーラから少し浮く程度まで、ねじをねじ込んでください

梱包名称	部品名称	数量
柱セット	レンガ柱（右)もしくは石柱（右）	1
	レンガ柱（左)もしくは石柱（左）	1
	木柱（右）	1
	木柱（左）	1
D70柱取付ねじセット	エプトシーラ	24
	トラスタッピングねじ φ4×14	24

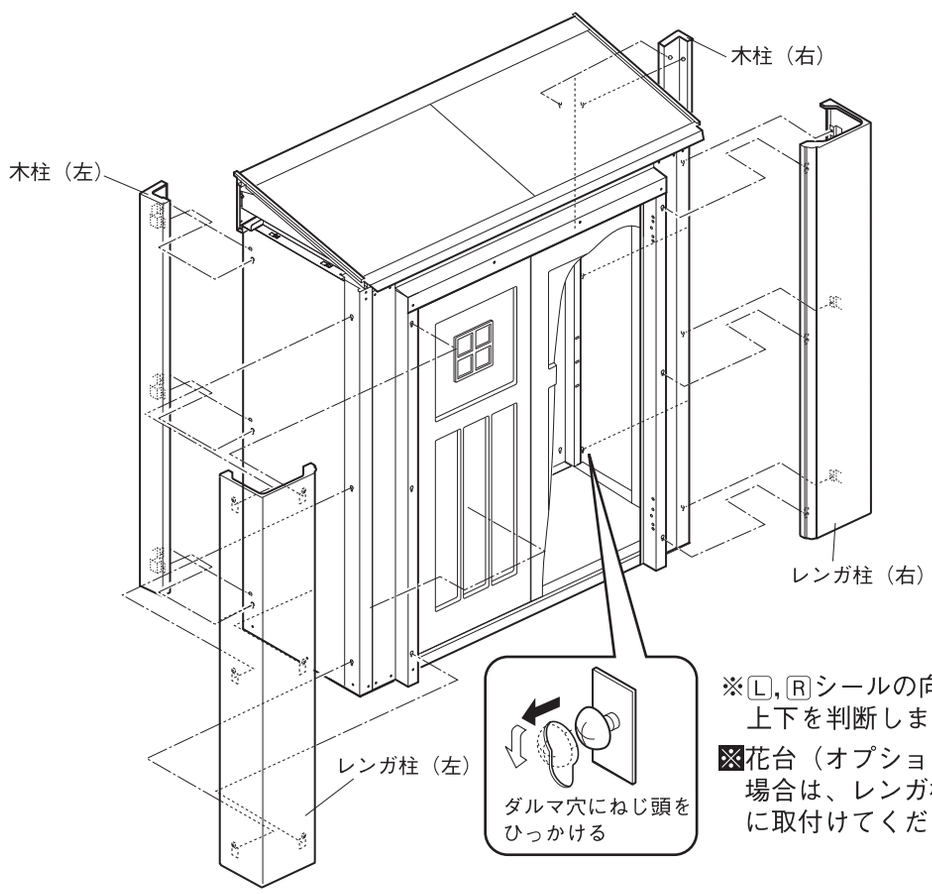


7 レンガ柱（左)(右）を取付けます。

ねじを前柱のダルマ穴に差し込みます。
※ねじは、まだ増締めしないでください。

8 木柱（左)(右）を取付けます。

ねじを奥パネルと側パネルのダルマ穴に差し込みます。
※ねじは、まだ増締めしないでください。



※Ⓛ,Ⓡシールの向きで、部品の上下を判断します。

※花台（オプション）を取付ける場合は、レンガ柱を取付ける前に取付けてください。

9【棟（オプション）をつける場合】

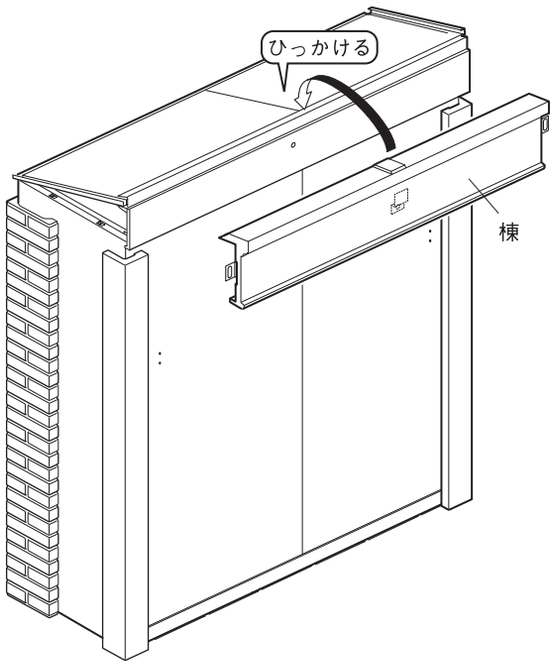
棟を取付けます。

（1）㉓後枠のセンターにあるマーキングの位置にドリルでφ5の穴をあけます。

（2）棟を屋根に引っ掛け、後枠の後ろにかぶせます。

※まだねじで固定しないでください。

梱包番号	部品名称	数量
オプション	棟	1

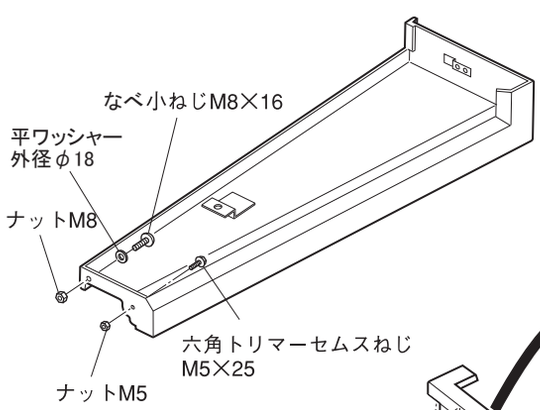


■妻の取付け

10 妻（左）（右）の前側にねじ類を取付けます。

※ナットをモンキーレンチなどでしっかりと締めてください。

梱包名称	部品名称	数量
D70屋根セット	D70用妻（右）	1
	D70用妻（左）	1
D70妻取付ねじセット	六角トリマーセムスねじM5×25	2
	なべ小ねじM8×16	2
	平ワッシャー　外径φ18	2
	ナットM5	2
	ナットM8	2

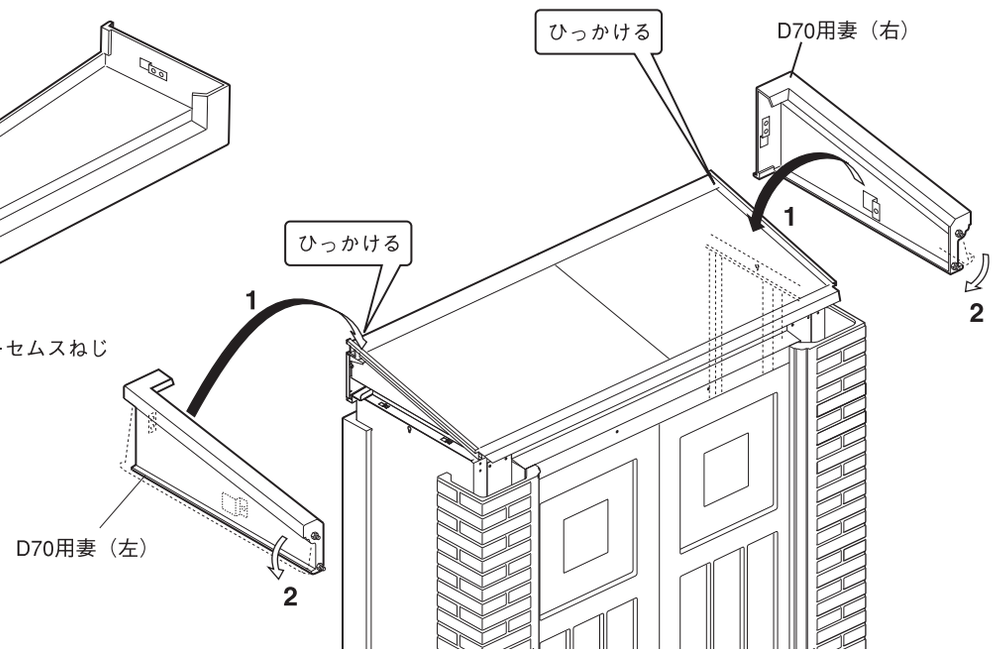


11 妻（左）（右）を下図1、2の順で取付けます。

（1）妻（左）（右）を屋根に引っ掛けて取付けます。

（2）妻を後方に止まるまで押し、位置を揃えます。

※まだねじで固定しないでください。

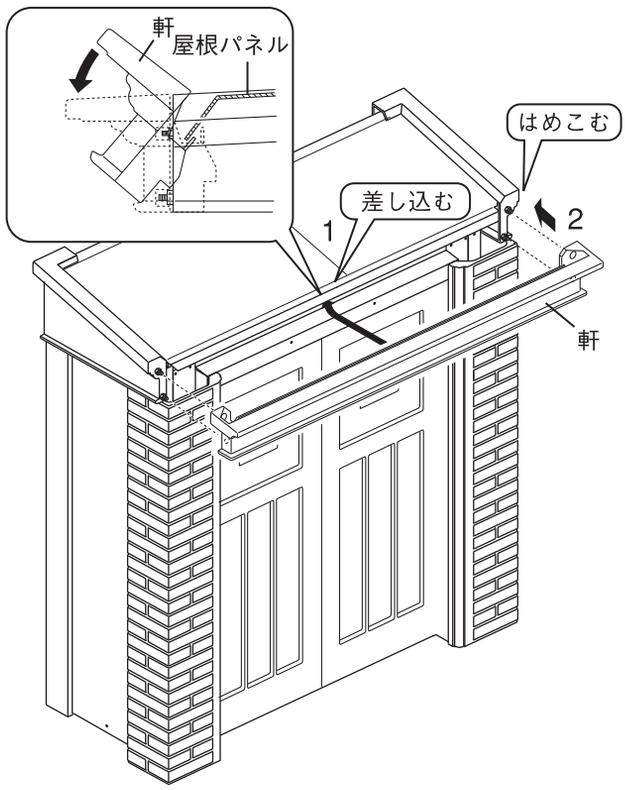


■軒の取付け

12 軒を取付けます。

軒のツバを屋根に引っ掛け、妻のねじと軒のねじ穴を合わせ、はめ込みます。

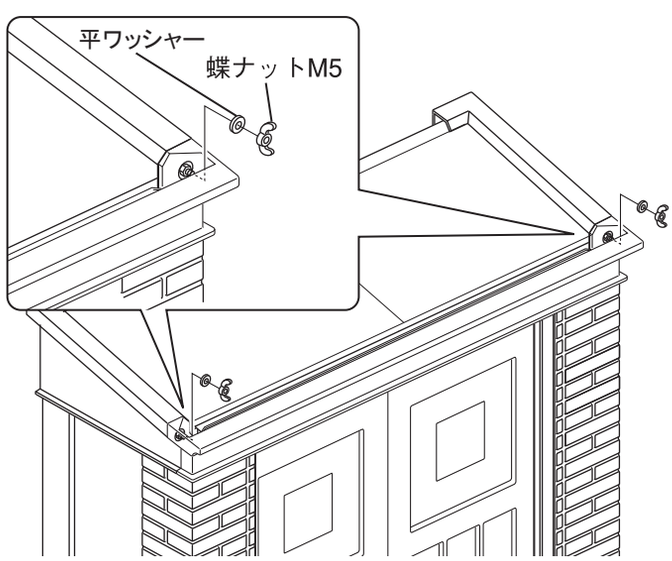
梱包名称	部品名称	数量
D70屋根セット	軒	1



13 軒を固定します。

軒の左右を蝶ナットで固定します。
※上部のねじのみ締め付けます。

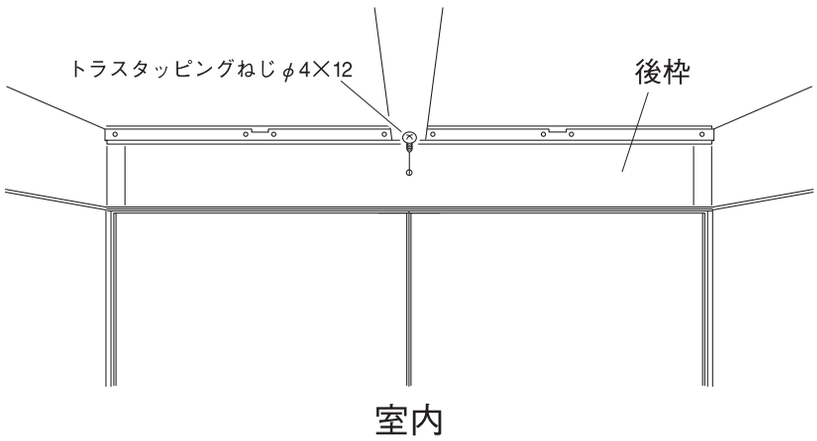
梱包名称	部品名称	数量
軒取付ねじセット	蝶ナットM5	2
	平ワッシャー	2



■各所の固定

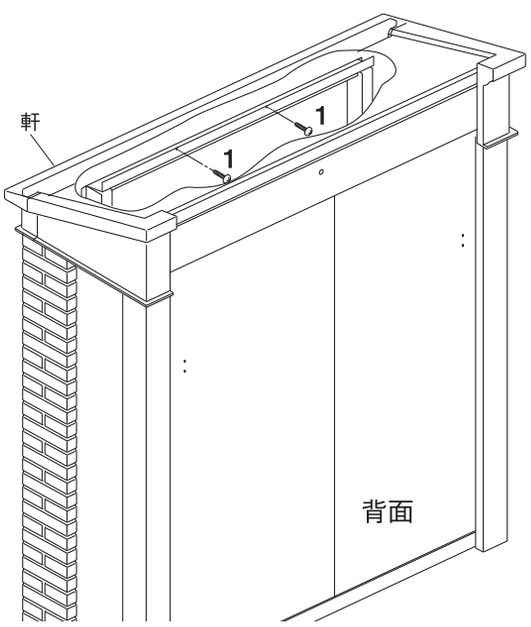
14 【棟（オプション）をつける場合】
棟を固定します。
室内から、ねじで固定します。

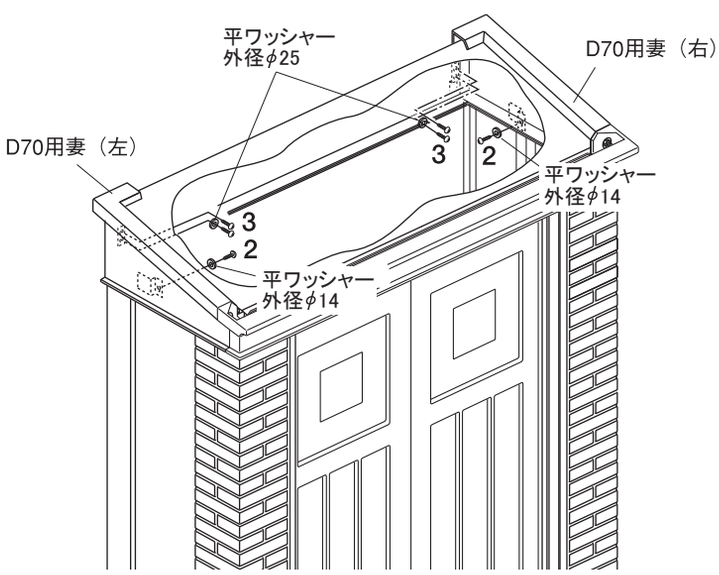
梱包名称	部品名称	数量
棟取付ねじセット	トラスタッピングねじ φ4×1	1



15 妻（左）（右）と軒を下図1、2、3の順で固定します。
室内からトラスタッピングねじで固定します。

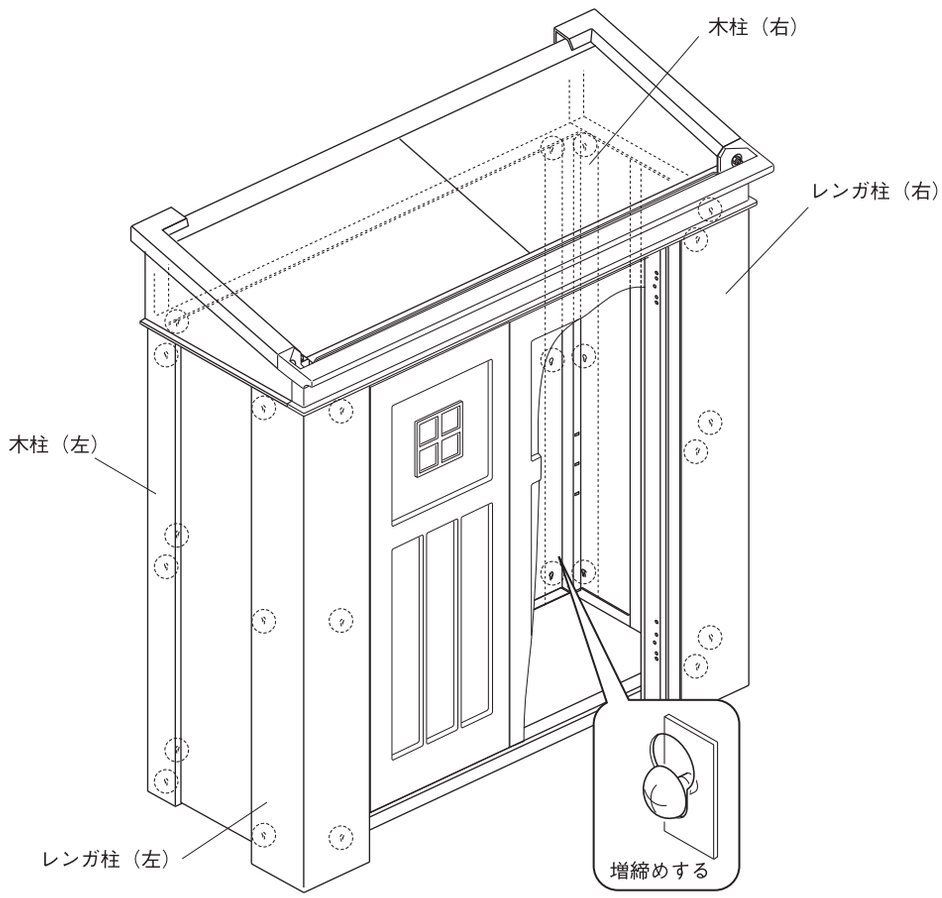
梱包名称	部品名称	数量
D70妻取付ねじセット	トラスタッピングねじ φ4×14	6
	平ワッシャー 外径φ14	2
	平ワッシャー 外径φ25	2
軒取付ねじセット	トラスタッピングねじ φ4×14	2





16 レンガ柱（左）（右）、木柱（左）（右）を固定します。

室内からそれぞれの柱のトラスタッピングねじを増締めします（計24ヶ所）。

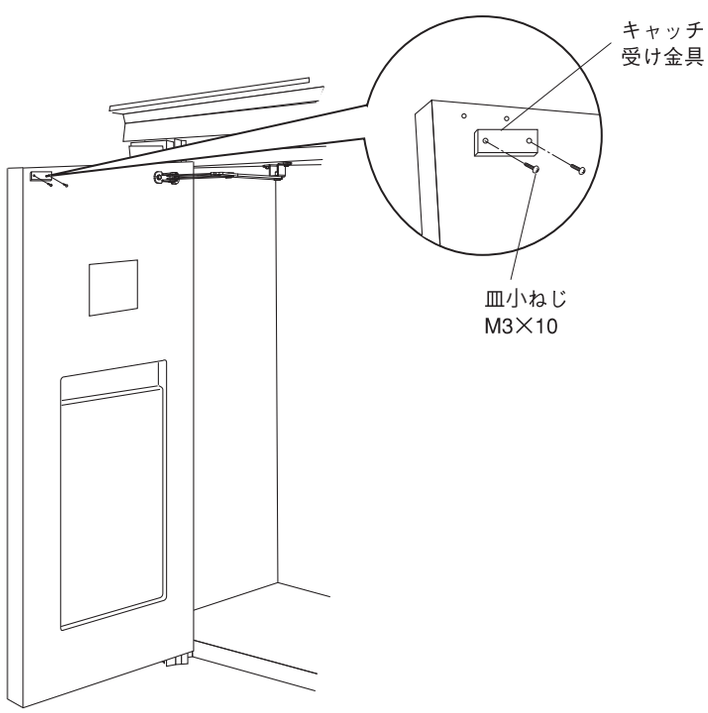


■扉の組立て

17 キャッチ受け金具を取付けます

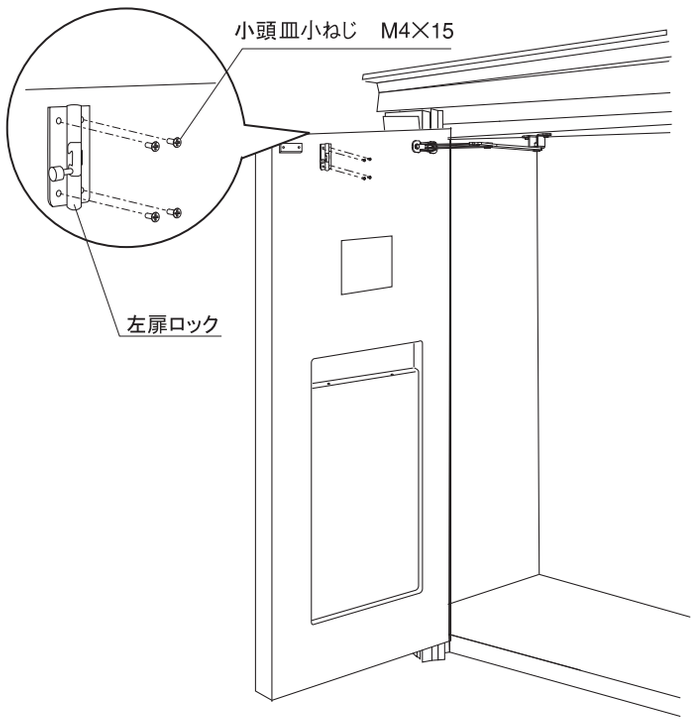
キャッチ受け金具を扉（左）（右）に取付けます。

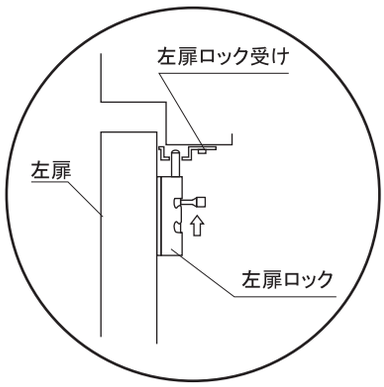
梱包名称	部品名称	数量
キャッチセット	キャッチ受け金具	2
	皿小ねじM3×10	4



18 扉（左）に 左扉ロックを取付け、左扉ロック受けの位置を調整します。

梱包名称	部品名称	数量
左扉ロックセット	左扉ロック	1
	小頭皿小ねじ　M4×15	4



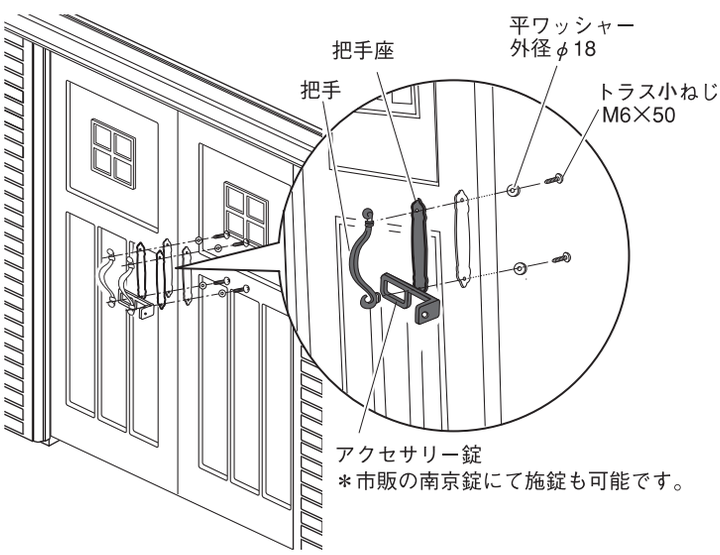


扉を閉めた時にロックがかけられるように、
左扉ロック受けの位置を調整します。

19 扉（左）(右）に把手を取付けます。

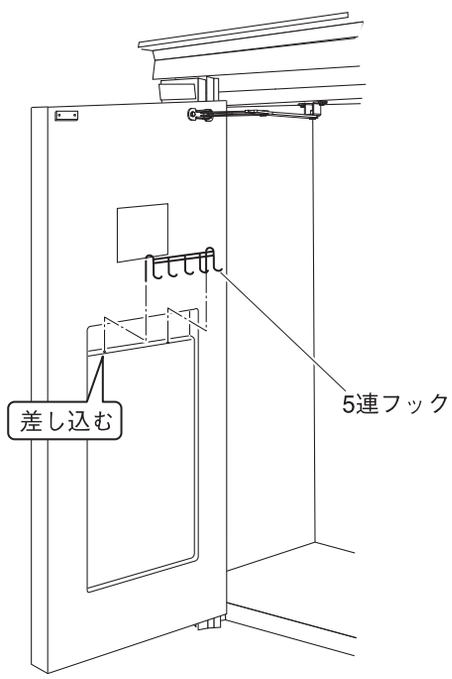
※アクセサリー錠は、扉(左)にのみ取付けます。

梱包名称	部品名称	数量
把手	把手	2
把手座	把手座	2
アクセサリー錠	アクセサリー錠	1
把手用ねじセット	トラス小ねじ　M6×50	4
	平ワッシャー　外径φ18	4



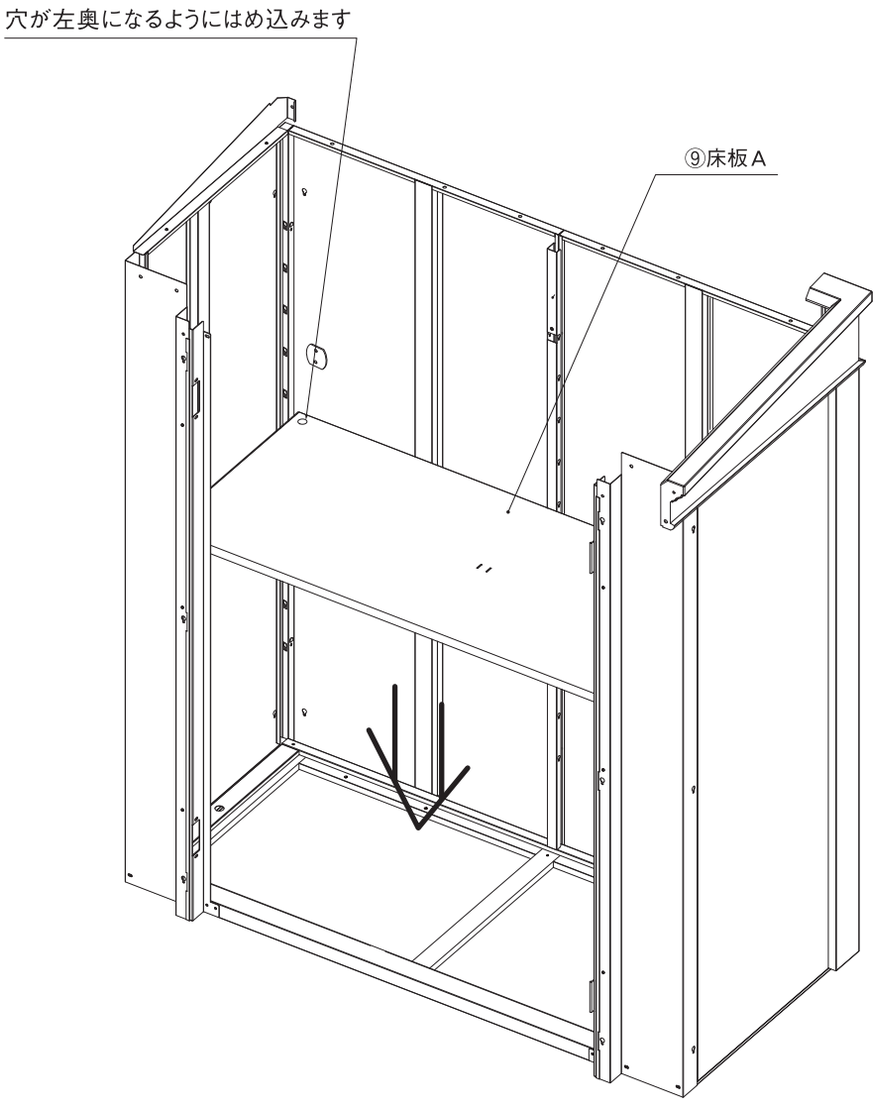
20 扉（左）(右）の内側に5連フックを取付けます。

梱包名称	部品名称	数量
5連フックセット	5連フック	2



21 ⑨床板Aをはめ込みます。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH182/ DSCJ182	⑨	床板A	1



■棚の取付け

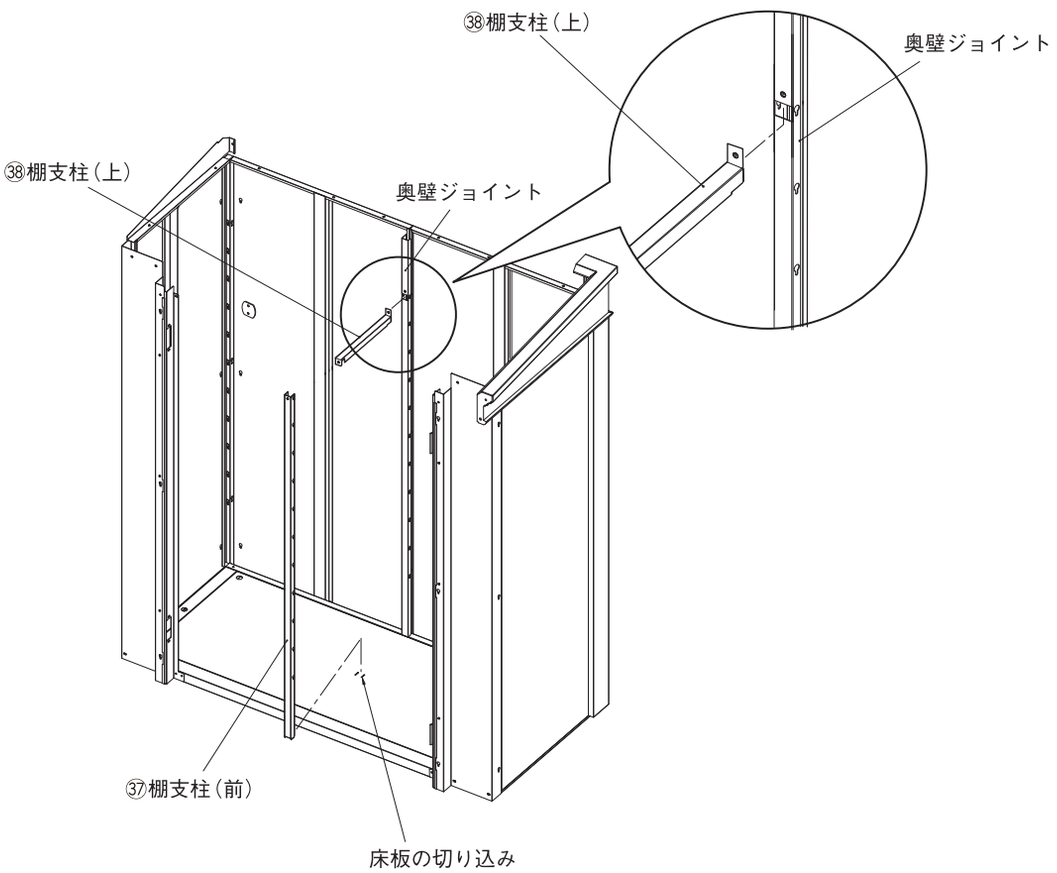
22 棚支柱を取付けます。

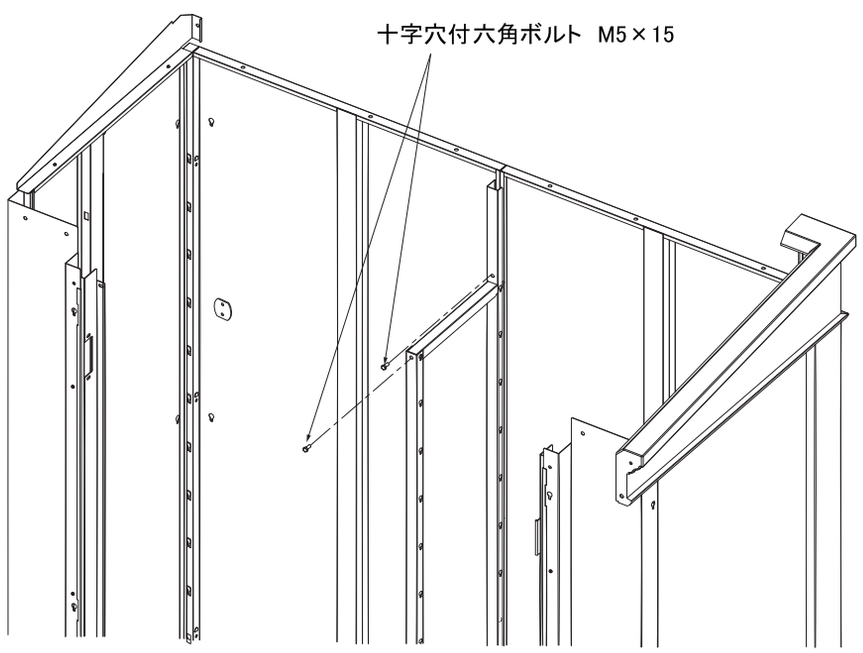
（1）㊲棚支柱（前）の下部の引掛け部を床板の切り込みに噛ませて固定します。

（2）㊳棚支柱（上）の奥側**の突起**を、奥パネルジョイント**の穴に差し込み**、六角ボルトで固定します。

（3）㊲棚支柱（前）と㊳棚支柱（上）を六角ボルトで固定します。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH087/ DSCJ087	㊲	棚支柱（前）	1
	㊳	棚支柱（上）	1
D70本体組立ねじセット		十字穴付六角ボルト M5×15	2



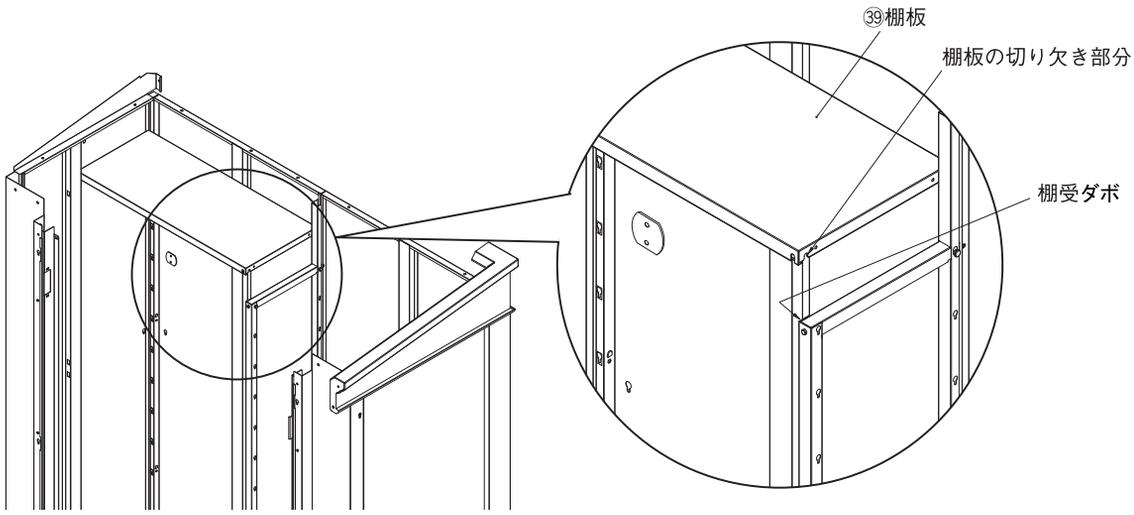


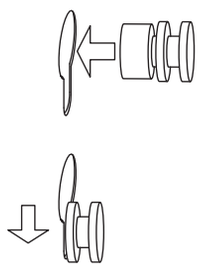
23 棚支柱に棚受**ダボ**を取付け、棚板をセットします。

(1) 棚を取付ける高さのダルマ穴に、棚受**ダボ**を差し込みます。

(2) 棚板をのせます。棚板の切り欠き部分が、棚受**ダボ**にはまり込んでいるのを確認してください。

梱包記号/梱包番号など		部品名称	数量
DSCH085/ DSCJ085	㊴	棚板	4
棚受**ダボ**セット		棚受**ダボ**	16





棚受ダボの取り付け方

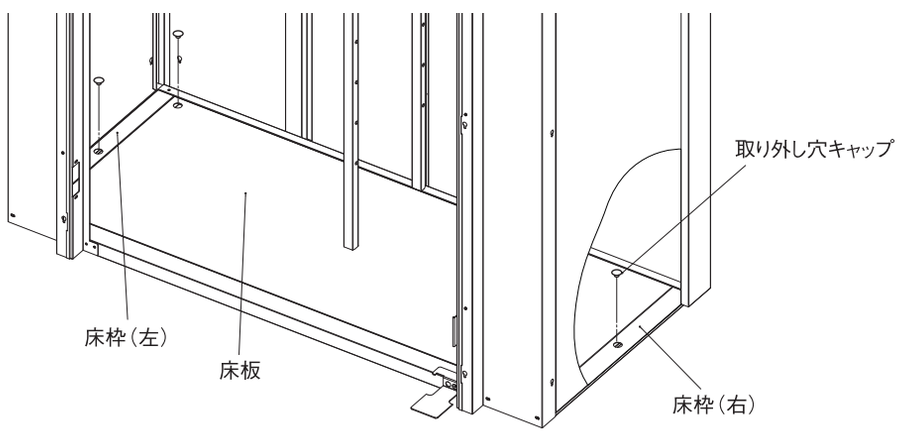
ダルマ穴の広い部分に棚受ダボを差し込み、狭い部分に溝をスライドさせます。

---

24 取り外し穴キャップを取付けます。

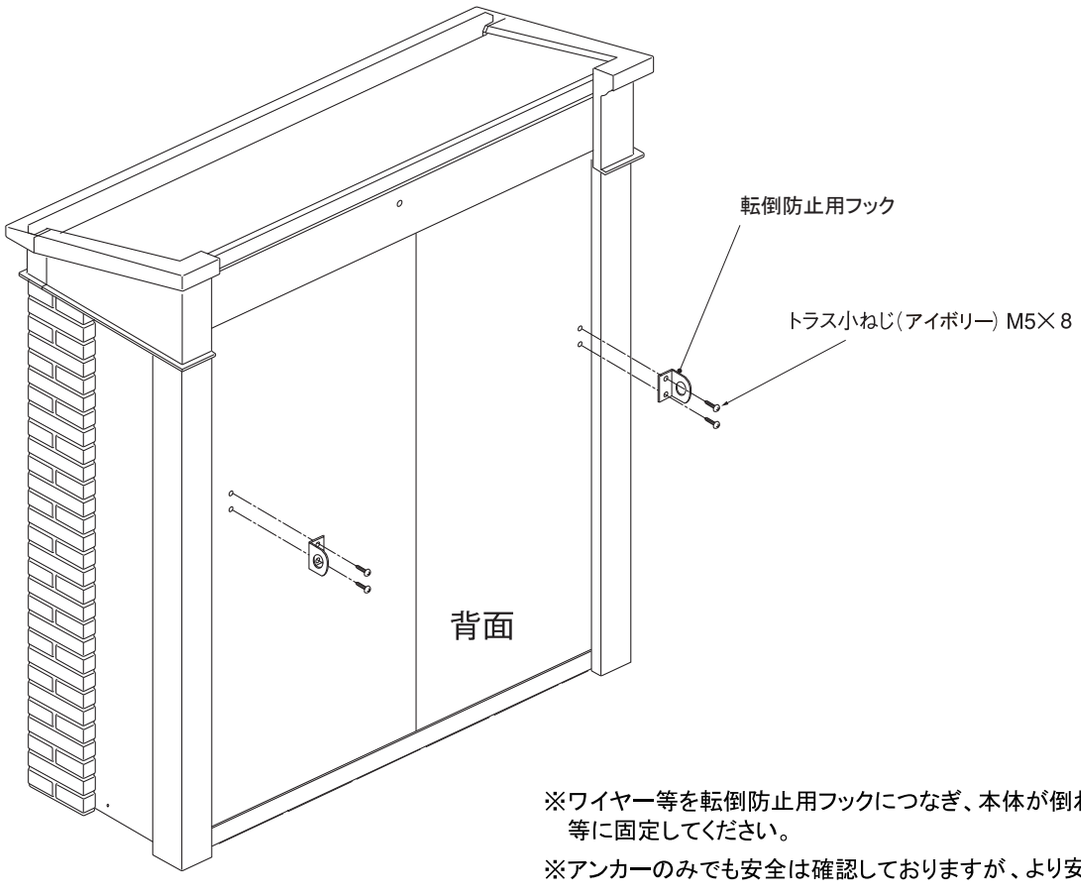
(1) 取り外し穴キャップを、床板と床枠(右、左)にはめ込みます。

梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
D70キャップセット	取り外し穴キャップ	3



25 転倒防止用フックを取付けます。

梱包名称	部品名称	数量
フックセット	転倒防止用フック	2
	トラス小ねじ（アイボリー） M5×８	4



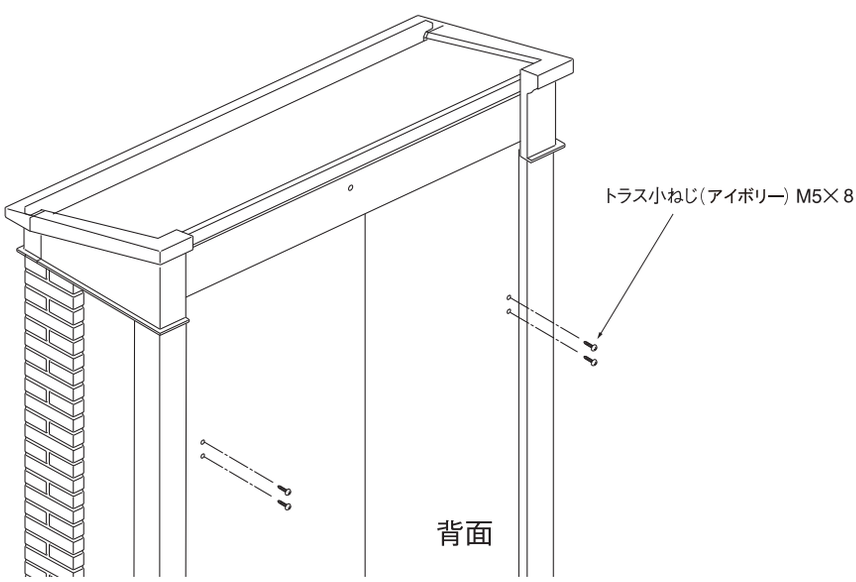
※ワイヤー等を転倒防止用フックにつなぎ、本体が倒れないように家屋等に固定してください。

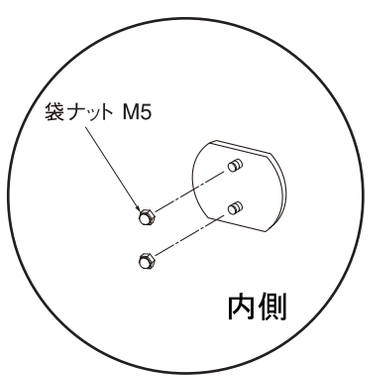
※アンカーのみでも安全は確認しておりますが、より安全性を高める為、転倒防止用フックの併用をお薦めします。

【転倒防止用フックを取り付けない場合】

アンカーと転倒防止用フックとの併用をお薦めしますが、転倒防止用フックを取り付けない場合は、トラス小ねじで穴を塞ぎ、 内側から袋ナットをしめます。

梱包名称	部品名称	数量
フックセット	トラス小ねじ（アイボリー） M5×８	4
	袋ナット M5	4



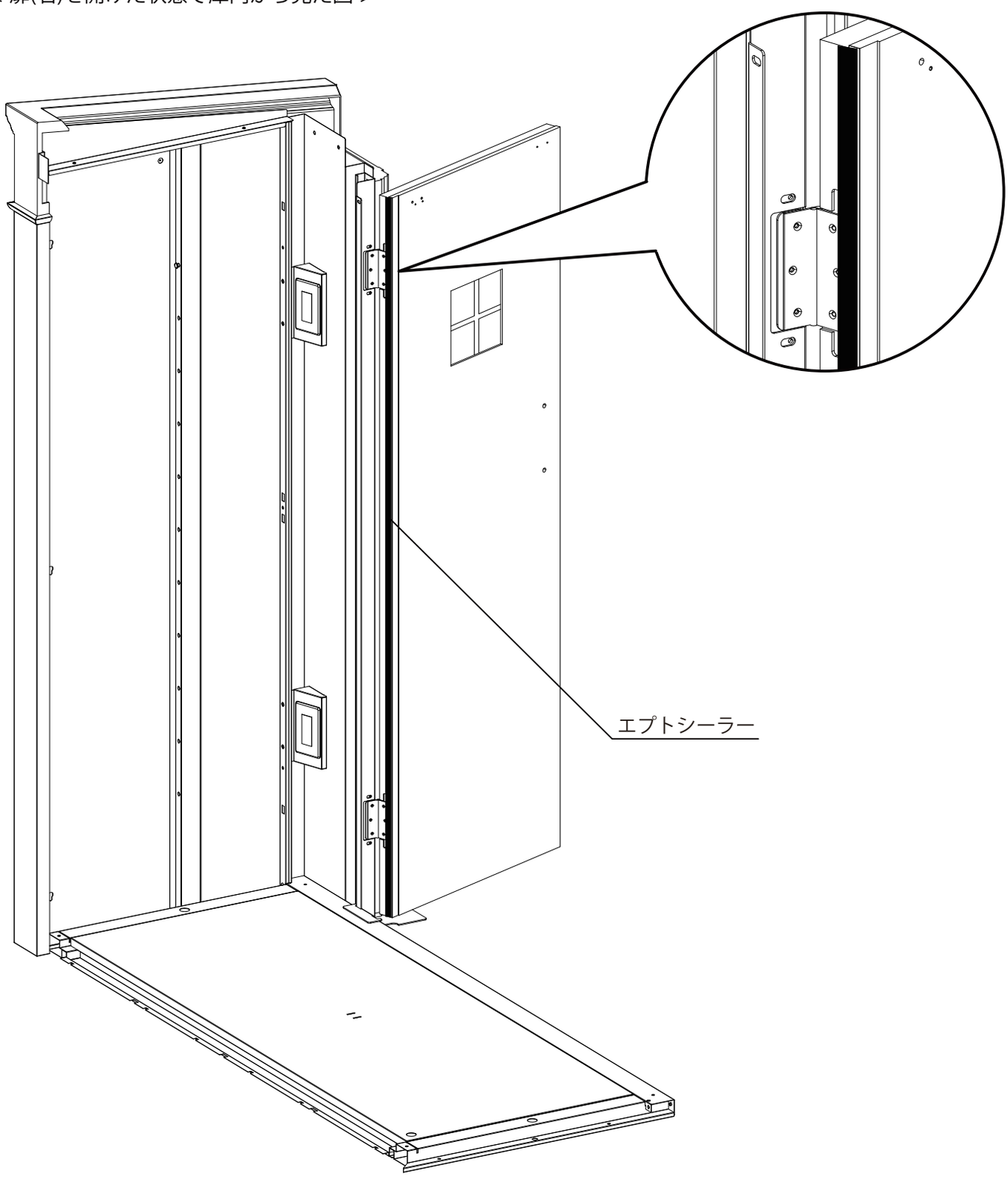


26 ドア用パッキンを貼り付けます。

(1) 本製品の組立が完了した後、下図を参照して両扉にエプトシーラーを真っすぐ貼り付けます。

梱包記号/梱包番号など	部品名称	数量
ドア用パッキンセット	エプトシーラー	2

＜ 扉(右)を開けた状態で庫内から見た図 ＞

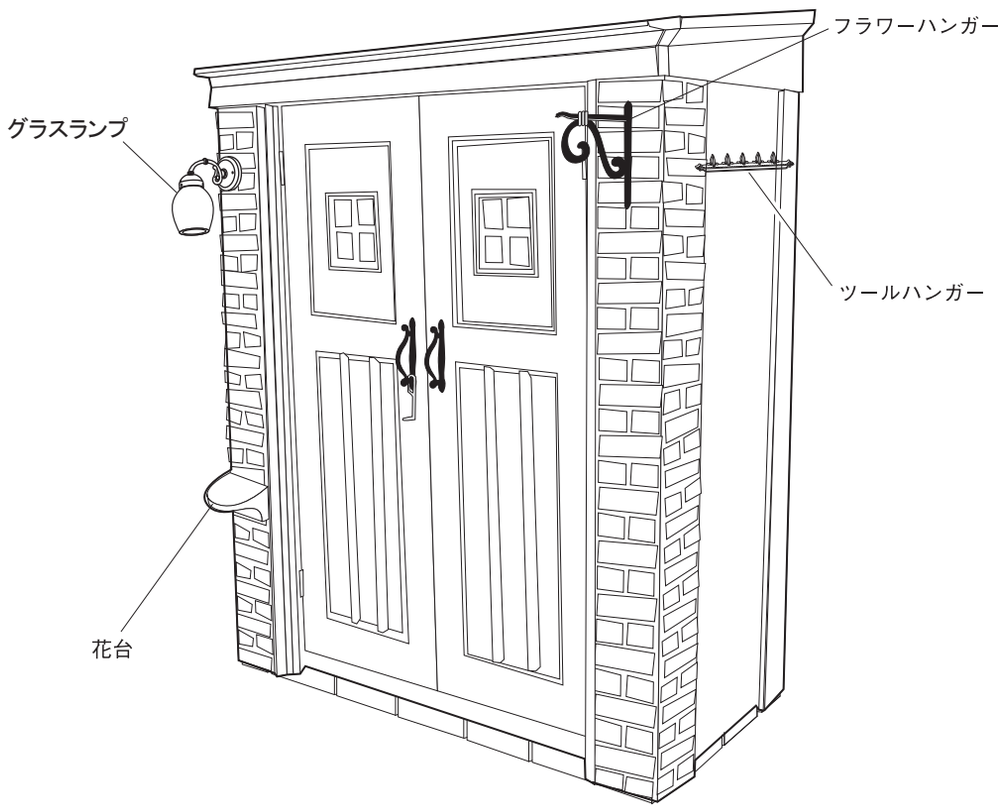


■オプションの取付け

27 【オプション案内】

下記オプションの取付けが可能です。

・フラワーハンガー
・ツールハンガー
・花台
・棟
・グラスランプ



※各種オプションの取付け方法については、
それぞれに付属の取付説明書をご覧ください。

工事店様へ

●改造、変更はしないでください。
●組立て終了後、ねじ類の締まり具合を確認してください。
●組立て終了後、組立説明書、取扱説明書は御施主様にお渡しください。

御施主様へ

●普段のお手入れは濡らした布でお拭きください。
●汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し、洗剤が残らないように拭き取ってください。
●シンナー、ベンジン等の溶剤のご使用は、絶対にお止めください。塗装に影響が出る恐れがあります。
●この製品はFRP部品を使用しています。廃棄する場合、地方自治体の定める方法で処理してください。
●法定の焼却設備で焼却すれば、ダイオキシンなどの環境汚染物は発生しません。
　小型焼却炉などでの自家焼却処理は避けてください。

DSB-IM10
2020.04A